

郡山市ふれあい科学館年報

— 平成29年度版 —



松本零士名誉館長とティラノサウルス



松本零士名誉館長 館内視察



スペースパーク企画展
「3Dゴーストハウスの科学」



スペースパーク企画展
「びっくり!鏡の不思議な世界 鏡の魔法展」



プラネタリウム サマーコンサート
星と音楽のシンフォニー
～銀河鉄道に乗って～



Live!オーロラ
～アラスカからオーロラ生中継～

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに

Ⅰ 施設のあらまし

- 1 設置目的…………… 1
- 2 運営方針…………… 2
- 3 施設概要…………… 3
- 4 組織概要…………… 5
- 5 歴代館長…………… 6
- 6 沿 革…………… 6

Ⅱ 平成29年度事業活動実績

- 1 宇宙劇場運営
 - (1) プラネタリウム番組投映 …… 16
 - (2) 音楽コンサート …… 22
- 2 展示ゾーン運営
 - (1) 体験型展示物の運転…………… 25
 - (2) 科学の実験ショー・実験工作教室等 25
 - (3) パソコン工房 …… 29
 - (4) 実験工房…………… 30
 - (5) 団体利用向け科学教室…………… 31
 - (6) Nゲージ鉄道ジオラマショー … 31
 - (7) 学校長期休業期間中の特別事業 32
- 3 資料の収集・展示等
 - (1) 資料の収集保管…………… 34
 - (2) 資料の展示…………… 34
 - (3) 資料の解説…………… 34
- 4 教育普及活動
 - (1) 講演会…………… 36
 - (2) 講座・体験学習・ワークショップ 37
 - (3) 天体観望会…………… 44
 - (4) 企画展…………… 45
 - (5) 学習支援…………… 49
 - (6) アウトリーチ事業(出前講座) … 50
 - (7) クラブ活動 …… 52
 - (8) 作品募集…………… 55
 - (9) 社会的弱者に配慮した事業 … 60
 - (10) 出版 …… 60
 - (11) 情報発信 …… 60

5 調査・研究・発表

- (1) 天文関連協議会調査…………… 62
- (2) 天文関連先進館調査…………… 62
- (3) 天文関連最新情報調査…………… 62
- (4) 天文学術会議調査…………… 62
- (5) 展示協議会等調査…………… 63
- (6) 展示最新情報調査…………… 63
- (7) 展示系学術発表…………… 63

6 その他

- (1) 運営協力…………… 64
- (2) ボランティア活動の推進 …… 65
- (3) 博物館実習プログラム …… 71
- (4) インターンシップ(就業体験)受入れ 72

Ⅲ 平成29年度広報・サービス活動

- 1 広報PR活動
 - (1) 広報戦略活動…………… 74
 - (2) 広報紙及び雑誌・看板等 …… 74
- 2 営業活動…………… 75

Ⅳ 平成30年度事業活動計画

- 1 宇宙劇場運営…………… 76
- 2 展示ゾーン運営 …… 80
- 3 資料の収集・展示等 …… 84
- 4 教育普及活動…………… 84
- 5 調査・研究・発表 …… 92
- 6 その他 …… 93

Ⅴ 予算・決算

- 1 平成29年度決算 …… 95
- 2 平成30年度予算 …… 96

Ⅵ 施設利用状況

- 1 月別入館者数…………… 97
- 2 施設別入館者数…………… 98
- 3 宇宙劇場区分別入館者数…………… 102
- 4 展示ゾーン区分別入館者数 …… 103
- 5 平成22年から平成29年度までの入館者数の変遷 105
- 6 平成29年度施設利用状況の結果分析 109

Ⅶ その他

- 1 条例・規則 …… 112
- 2 利用案内…………… 121
- 3 スペースパークボランティアの会会則 122

はじめに

平成 29 年度は、郡山市ふれあい科学館を管理運営する「公益財団法人郡山文化・学び振興公社」が郡山市より指定管理を受け、4 年目を迎えました。昨年度は、開館 15 周年記念事業を開催し、多くのお客様においでいただきましたが、今年度も、前年度と同様に多くのお客様にご来館いただきました。2001 年、21 世紀の幕開けの年に開館し、子どもたちに 21 世紀にふさわしい夢と希望を与えることができるような科学館を目指して、当館の設置目的である「理科離れ、科学技術離れへの対応」、「市民の生涯学習意欲への対応」、「都心部の回遊性と集客」の実現のため、子どもから大人まで学び、楽しめるよう、各関係機関との連携などにより事業の充実を図ってまいりました。

市内はもちろん、県内外からご来館いただきました皆さま、そしてご支援をいただきました皆さまに心から感謝を申し上げます。

平成 29 年度の主な事業としましては、宇宙劇場では、夏休みドーム映像番組として「ティラノサウルス最強恐竜進化の謎」を放映し、期間中延べ 15,000 人の方にご来場いただきました。その先行試写会には、今年度もお忙しい中、当館名誉館長の松本零士先生にもお越しいただきました。21 階展示ゾーン・キッズプレイスに展示された松本先生の作品「銀河鉄道 999」のお披露目も行われました。また宇宙劇場では、プラネタリウム演劇「シンデレラストーリー」やサマーコンサート「星空と音楽のシンフォニー～銀河鉄道に乗って～」、クリスマスコンサート「ケルト・北欧の調べ～オーロラの輝く夜に～」を各 2 回公演で開催しましたが、すべて満席となりました。改めてお客様のニーズに応えた番組選定の重要性を感じました。

当館としては初の夏の企画展「3D ゴーストハウスの科学」を開催しましたが、これまでなかなか足を運んでいただけなかった高校生など、新たな客層を含め、延べ 28,000 人の方にご来場いただきました。また、冬の企画展として「びっくり! 鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を開催し、写真撮影スポットでもあった「よじ登る壁」など人気を集め、延べ 15,000 人の方にご来場いただきました。

連携事業としましては、福島大学、日本大学工学部、新潟大学工学部の支援により、最新の科学や簡単な実験や工作を行い、多くの来場者に楽しんでいただき、科学の面白さを体験していただくことができました。また、今年度は、郡山市立美術館と連携し、美術と科学の両面から捉えた「ゾートロップ」製作などのワークショップが開催されました。

12 月には、金井宇宙飛行士が搭乗するソユーズ MS-07 宇宙船の打ち上げや人工衛星「しきさい」「つばめ」の打ち上げを 22 階展望ロビーからライブ中継を行いました。また、2 月に開催された星の講演会では、国立天文台チリ観測所の平松正顕先生をお迎えし、アルマ望遠鏡とその成果についてお話いただきました。今後とも科学、天文に関する最新トピックや情報を提供してまいります。

平成 30 年度は、指定管理の最終年度 5 年目を迎えます。今年度の事業評価をしっかりと行い、来館者の皆さまのアンケートなどのご意見をもとにしながら、さらに進化した「グローイングミュージアム」を目指して、今後とも鋭意努力してまいりたいと覚悟です。

郡山市ふれあい科学館
館長 岡 崎 強

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

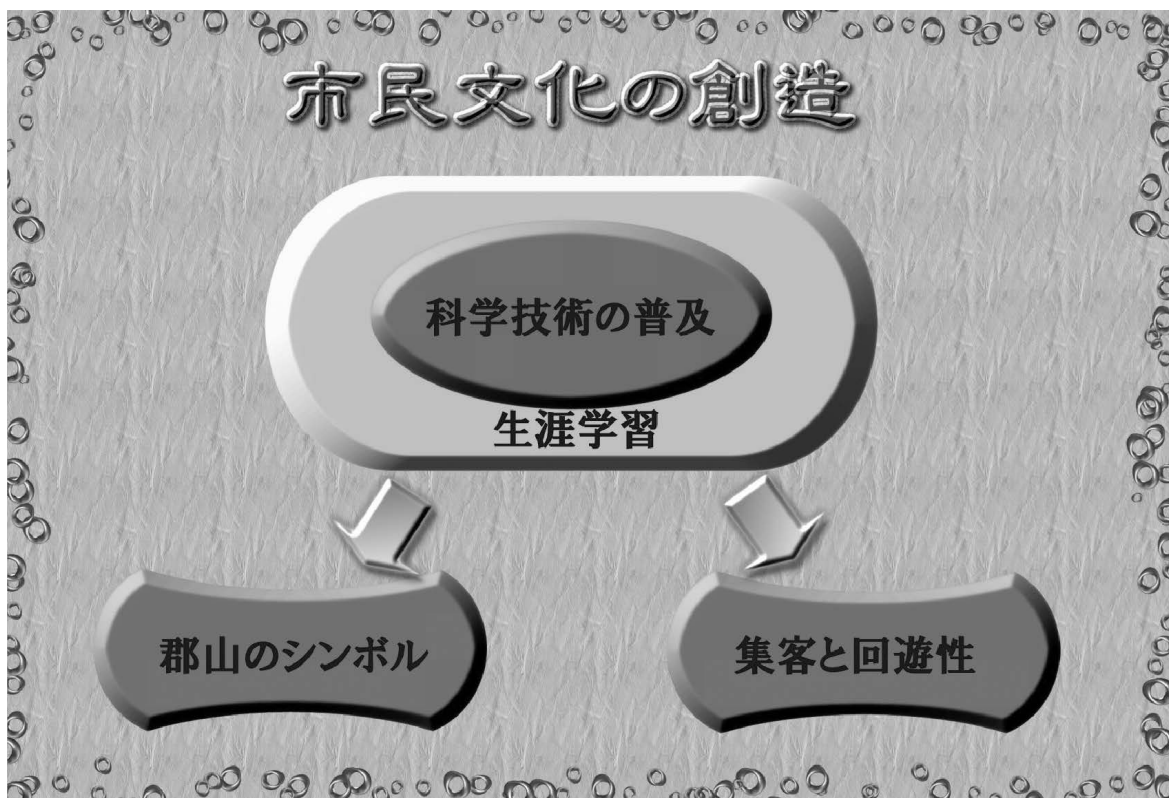
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローピング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
(ビッグアイ 20～24 階)

構 造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造

※ビル全体の構造 (地上高 133 m)

面 積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

郡山市ふれあい科学館 フロア案内

宇宙劇場 — 23・24F —

劇場、ホワイエ

○規模

直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席

○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー — 22F —

メインエントランス、カフェ・ショップほか

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

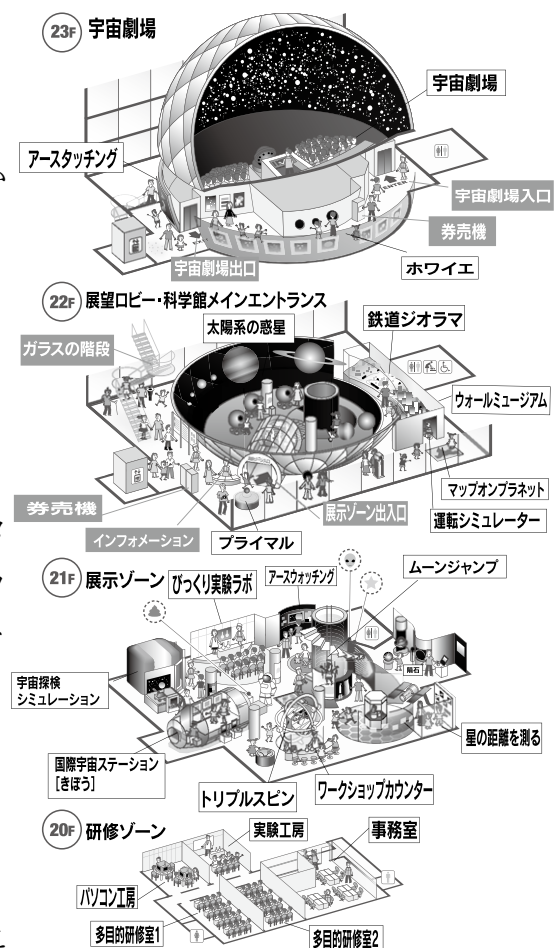
展示ゾーン — 21F —

○展示品

— プロローグ —

プロローグ「惑星」、コペルニクスのかえ

スペースパークフロアマップ



- た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンのほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

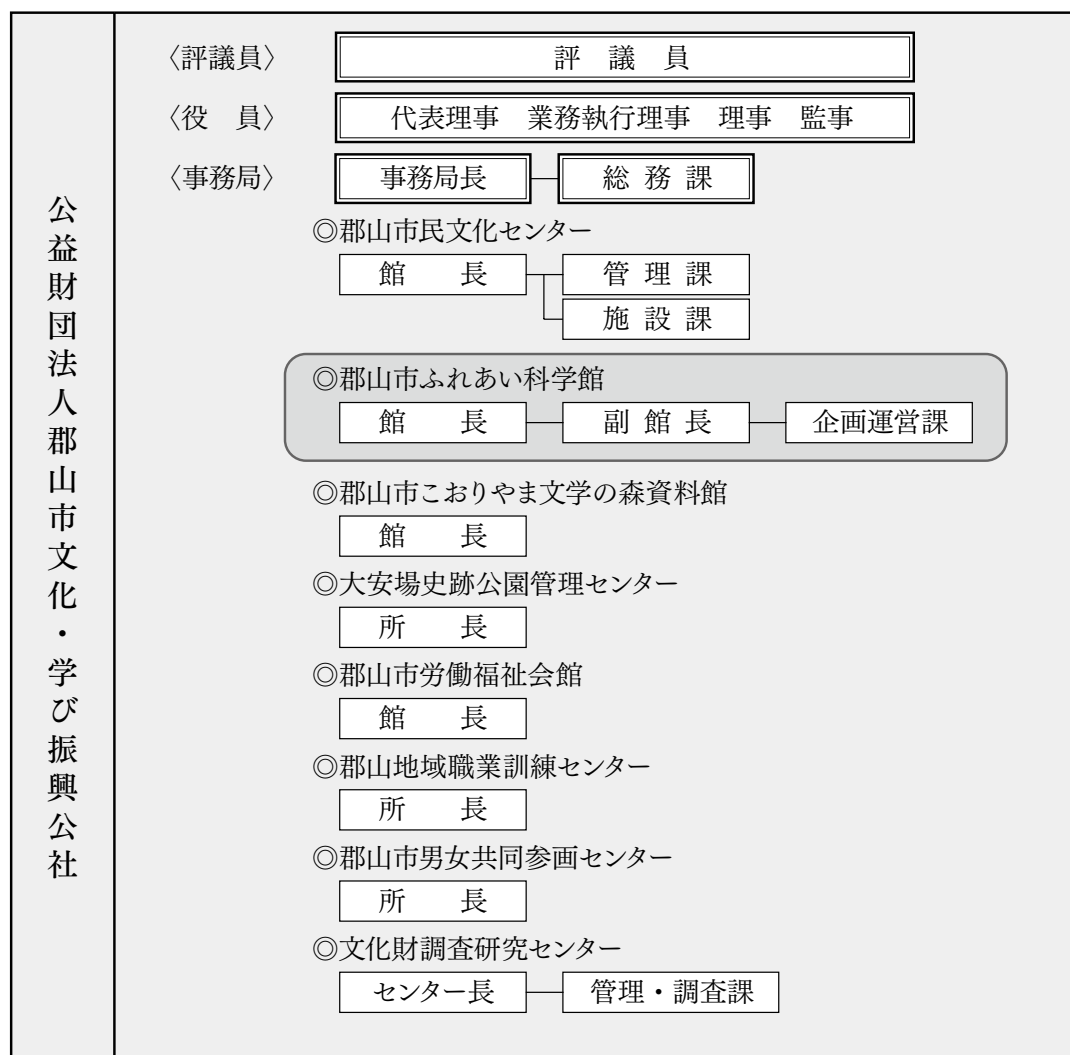
* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図〈平成 29 年度〉



(2) 職員配置〈平成 30 年 3 月 31 日現在〉

館長（1）、参事兼副館長事務取扱（1）

－企画運営課（35）－

課長（1）、主任（4）、主査（1）、主事（4）、常勤嘱託職員（2）、非常勤嘱託職員（1）

臨時職員（22）

合計 37 人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間政彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

○科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

○22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

○郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙ヘワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“第 1 回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

○ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

○有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

○展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

○ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

○鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

○開館 1 周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

○展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

○常陸宮両殿下御視察

○開館 1 周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

○開館 1 周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

○展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

＜平成 15 年 4 月＞

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

＜平成 15 年 6 月＞

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

＜平成 15 年 7 月＞

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

＜平成 16 年 2 月＞

○スペースパークボランティアの会設立

＜平成 16 年 3 月＞

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

＜平成 16 年 5 月＞

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

＜平成 16 年 6 月＞

○有料ゾーン入館者が50万人突破

＜平成 16 年 9 月＞

○高円宮妃殿下御視察

＜平成 16 年 10 月＞

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

＜平成 16 年 11 月＞

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

＜平成 17 年 2 月＞

○県内 5 館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

＜平成 17 年 9 月＞

○アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

＜平成 18 年 3 月＞

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催
(9・10月)

<平成 18 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙
開拓の未来～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見
た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催

○国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成 18 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成 19 年 3 月>

○“ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成 19 年度

<平成 19 年 7 月>

○“夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅
編」”投映開始

<平成 19 年 10 月>

○「第 5 回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞
受賞

<平成 19 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催

○展望ロビー入館者が200万人突破

<平成 20 年 1 月>

○有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成 20 年度

<平成 20 年 6 月>

○“「JAXA太陽ふしぎ展」”開催

○“特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成 20 年 7 月>

○スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」

○“夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成 20 年 12 月>

○“全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催

○“冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成 21 年度

<平成 21 年 4 月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

○“夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”投映開始

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成 21 年 11 月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成 21 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”投映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”投映開始

<平成 22 年 11 月>

○“全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成 22 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”投映開始

<平成 23 年 3 月>

○「東日本大震災」により 3 月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

○「東日本大震災」により 4 月28日まで休館、4 月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成 23 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”投映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成 23 年 8 月>

○“「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

○“郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成 24 年 1 月>

○「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

<平成 24 年 2 月>

○展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

○“宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成 24 年 5 月>

○郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成 24 年 6 月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成 24 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を 7 月14日から16日、 7 月21日から 8 月26日まで投映

<平成 24 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月 1 日から 1 月14日まで開催

○“冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月 1 日から 2 月24日までロングラン投映

<平成 25 年 1 月>

○全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成 25 年 2 月>

○“イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間投映

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

○“パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成 25 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を 7 月20日から 8 月25日まで投映

<平成 25 年 11 月>

○“全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月9日から12月8日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

○“冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで投映

○“スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

○“天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

<平成 26 年 3 月>

○“スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで投映

<平成 26 年 9 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

<平成 26 年 10 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで投映

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 26 年 11 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催

○JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さ

わって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

＜平成 27 年 4 月＞

- “皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

＜平成 27 年 7 月＞

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

＜平成 27 年 9 月＞

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

＜平成 27 年 10 月＞

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

＜平成 27 年 11 月＞

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

＜平成 27 年 12 月＞

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

＜平成 28 年 3 月＞

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

▶平成 28 年度

＜平成 28 年 4 月＞

- “春のドーム映像番組「ポラリス - 氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大

作戦！」”を4月1日から5日まで放映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで放映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
 - ・開館15周年記念式典
 - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
 - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
 - ・ハイスクール科学祭
 - ・トリックアート展
- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」”を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで放映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで放映

▶平成 29 年度

<平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」 「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで放映

<平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで放映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

<平成 29 年 10 月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

○“春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7日から9日までアンコール投映

<平成 29 年 11 月>

○“春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

<平成 29 年 12 月>

○スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」”を12月2日から1月8日まで投映

<平成 30 年 3 月>

○春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで投映

Ⅱ 平成 29 年度事業活動実績

I 施設のあらまし

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時(※ 1)	19 時(※ 2)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	18 時 20 分 (※ 3)
夏休み期間等 (※ 4)	10 時 30 分	11 時 40 分	13 時	14 時 20 分	15 時 40 分	17 時

※ 1 11/1 ～ 30、12/5 ～ 22、3/6 ～ 23 のみ投映

※ 2 金曜日のみ投映

※ 3 11 月のみ投映

※ 4 夏休み期間、12/2 ～ 1/8 の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、3/3 ～ 31 の土曜・日曜・祝日・春休み期間

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に 2 ケ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第 3 回目及び土曜・日曜・祝日の第 2・4 回目、団体利用がない平日の第 1・2 回目、夏休み期間の第 3・5 回目、12/3 ～ 1/9・3/4 ～ 31 の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・春休み期間の第 2・5 回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
オーロラ旅行	平成29年4月1日(土)～4月30日(日)	60 回	1,308 人
いちばん身近な星～太陽の姿～	平成29年5月2日(火)～6月30日(金)	92 回	2,807 人
地球誕生 46 億年の旅	平成29年7月1日(土)～8月31日(木)	114 回	5,772 人
ブラックホールが見える?!	平成29年9月1日(金)～10月31日(火)	86 回	3,588 人
宇宙のアート～天体めぐり～	平成29年11月1日(水)～12月30日(土)	106 回	2,370 人

星々の物語り ～星座の世界～	平成30年1月2日(火)～2月28日(水)	95回	2,025人
宇宙のはじまりの物語 ～ビッグバン～	平成29年3月1日(水)～3月31日(金)	65回	1,331人



オーロラ旅行



いちばん身近な星
太陽の姿



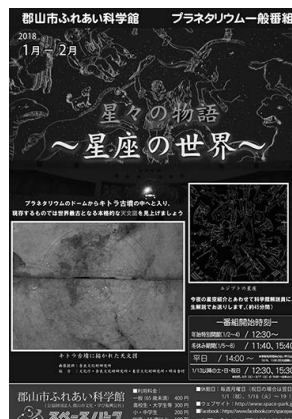
地球誕生 46億年の姿



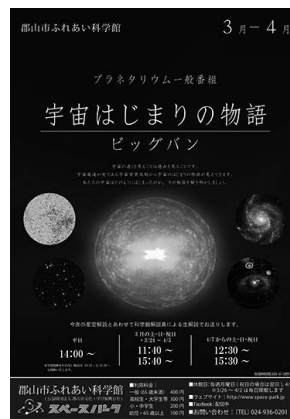
ブラックホールが
見える?!



宇宙のアート
～天体めぐり～



星々の物語
～星座の世界～



宇宙のはじまりの物語
～ビッグバン～

観覧者総数 19,201人

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリウム番組を放映した。

放映時間：土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、12/2～1/8・3/3～31の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・春休み期間の第3回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ほしのせかいりょこう	平成29年4月1日(土)～5月28日(日) ※5月3日(水)～5月7日(日)を除く	33回	1,125人
星空めぐりと星の物語 「おたすけじぞう」	平成29年5月3日(土)～5月7日(日)	10回	950人
たなばたの星	平成29年6月3日(土)～7月31日(月)	36回	1,700人
月たんけん・天の川たんけん	平成29年8月1日(火)～9月30日(土)	47回	2,672人
ほしのものがたり 「ほしをつかまえたおうじ」	平成29年10月1日(日)～11月26日(日)	37回	1,528人

こどものほしたち	平成29年12月2日(土)～平成30年1月28日(日)	32 回	1,177 人
うちゅうのおはなし「ほしみるおじさん」と星空めぐり	平成30年2月3日(土)～3月31日(土)	31 回	1,116 人



ほしのせかいりょう



星空めぐりと星の物語
「おたすけじぞう」



たなばたの星



月たんけん・天の川
たんけん



ほしのものがたり
「ほしをつかまえたおうじ」



こどものほしたち



うちゅうのおはなし「ほしみるおじさん」と星空めぐり

観覧者総数 10,268 人

ドーム映像番組

全天周映像(ドーム映像)に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を学校長期休業期間中に放映した。特に夏休みの放映にあたっては先行試写会など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、マルチ事業部と連携し商業施設での展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天周映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の上映及びマルチ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
くまのがっこう ジャッキーのおほしさ	平成 29 年 4 月 1 日(土)～ 4 月 5 日(水) 平成 29 年 10 月 7 日(土)～ 10 月 9 日(月)	5 回 6 回	793 人 743 人
planetarian ～ちいさなほしのゆめ～	平成 29 年 4 月 1 日(土)～ 4 月 5 日(水) 平成 29 年 11 月 1 日(水)～ 11 月 30 日(木)	5 回 26 回	623 人 613 人
ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎	平成 29 年 7 月 15 日(土) ～8 月 24 日(木)	123 回	14,859 人

ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～	平成 29 年 12 月 2 日 (土) ～平成 30 年 1 月 8 日 (月)	47 回	4,861 人
グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記	平成 30 年 3 月 3 日 (土) ～3 月 31 日 (土)	41 回	1,338 人

また、指定管理者の自主事業として、平成 29 年 4 月に春のドーム映像番組 2 作品を、10 月 7 日～9 日及び 11 月にドーム映像番組それぞれ 1 作品を、平成 30 年 3 月にドーム映像番組 1 作品を投映した。

<春のドーム映像番組及びアンコール投映「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」>

投映期間：春休み期間（平成 29 年 4 月 1 日～5 日）の第 1 回目及び平成 29 年 10 月 7 日（土）～10 月 9 日（月）の第 1・4 回目

<春のドーム映像番組及びアンコール投映「planetarian ～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別版」>

投映期間：春休み期間（平成 29 年 4 月 1 日～5 日）の第 4 回目及び平成 29 年 11 月 1 日（水）～11 月 30 日（木）の平日の第 5 回目と土曜・日曜・祝日の第 6 回目

<夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」>

投映期間：夏休み期間（7 月 14 日～8 月 24 日）の第 1・3・5 回目

<冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」>

投映期間：12 月 2 日～平成 30 年 1 月 8 日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12 月 23 日～27 日・平成 30 年 1 月 5 日～8 日）の第 1・4 回目、年末・年始（12 月 28 日～30 日・平成 30 年 1 月 2 日～4 日）の第 3 回及び 12 月 5 日～22 日の平日の第 5 回目

<春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」>

投映期間：平成 30 年 3 月 3 日～31 日の土曜・日曜・祝日・春休み期間（3 月 24 日～31 日）の第 1 回目、及び 3 月 6 日～21 日の平日の第 5 回目

観覧者総数 23,830 人



くまのがっこう
planetarian



ティラノサウルス
最強恐竜 進化の謎



ノーマン・ザ・スノーマン
～北の国のオーロラ～



グレーの子パンダ
小さなグレートの成長日記

<夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」先行試写会>

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行い、話題づくりと作品の見どころについて紹介した。

☆開催日時 平成 29 年 7 月 9 日（日） 11 時 30 分～ 12 時 30 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者 178 人

☆内 容 主催者あいさつ、松本零士名誉館長あいさつ、作品の見どころ紹介、番組鑑賞、1 階関連展示テープカット



試写会の様子



関連展示テープカットの様子

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
星空ライブ 60 ～春の星空編～	平成29年5月6日(土) 18時30分～19時30分	1回	42 人
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム～	平成29年8月3日(木)～5日(土) 18時30分～19時	3回	105 人
星空ライブ 60 ～夏休みスペシャル～	平成29年8月8日(火)～10日(木) 18時30分～19時30分	3回	32 人

伝統的七夕	平成29年8月26日(土)・27日(日) 18時30分～19時30分	2回	18 人
十五夜の月	平成29年9月30日(土)・10月1日(日) 18時30分～19時30分	2回	68 人
星空ライブ 60 ～秋の星空編～	平成29年10月14日(土) 18時30分～19時30分	1回	30 人
スターリークリスマス	平成29年12月23日(土)～25日(月) 18時30分～19時30分	3回	236 人
星空ライブ 60 ～冬の星空編～	平成30年1月6日(土) 18時30分～19時30分	1回	15 人
Live! オーロラ ～アラスカからオーロラ生中継～	平成30年2月・3月の土曜・日曜 18時30分～19時30分	17 回	1,408 人

観覧者総数 1,954 人

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座をみつけよう(小学校低学年以上)	通 年	14 回	974 人
日なたと日かげ(小学校中学年以上)		6 回	479 人
月と星の動き(小学校中学年以上)		46 回	4,625 人
月と太陽(小学校高学年以上)		5回	516 人
地球と宇宙(中学生向け)		3回	384 人
宇宙のお話(中学生以上)		3回	105 人

観覧者総数 7,083 人

幼児番組

※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
みづかなうちゅうのおはなし 「ほしみるおじさん」	平成 29 年4月～5月	1 回	48 人
おりひめぼし・ひこぼし	平成 29 年6月～7月中旬	16 回	2,190 人
かぐやひめのおはなし	平成 29 年8月下旬～10 月	14 回	729 人

うちゅうりょこうをたのしもう！	平成 29 年 11 月～ 12 月	8 回	392 人
ふゆのほしめぐり	平成 30 年 1 月～ 3 月	15 回	507 人

観覧者総数 3,866 人

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。（字幕作成協力：郡山市要約筆記サークル）

- ☆ 開催日時 平成 29 年 10 月 21 日（土） 12 時 30 分～ 13 時 15 分
- ☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「ブラックホールが見える?!」
- ☆ 観覧者数 40 人
- ☆ 開催日時 平成 30 年 3 月 31 日（土） 13 時～ 13 時 45 分
- ☆ 内 容 キッズアワー「うちゅうのおはなし「ほしみるおじさん」と星空めぐり」
- ☆ 観覧者数 45 人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日（祝日・学校長期休業期間等を除く。）の第 4 回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第 5 回目（夏休み期間を除く。）

毎週金曜日の第 6 回目

月	音 楽 テ ー マ	放映回数	観覧者数
4 月	宙とロック～日本のバンド特集～【アンコール】	30 回	809 人
5 月	雨夜の星月～雨の唄～	61 回	1,799 人
6 月			
7 月	ヒーリングミュージック～アニメの世界～	24 回	658 人
8 月			
9 月	スターライトクラシック vol.4 ～遙かなる銀河への旅～	61 回	1,224 人
10 月			

11月	ウィンターソング	58回	1,518人
12月			
1月	世界の歌姫	52回	1,026人
2月			
3月	宙とロック2	33回	713人

観覧者総数 7,747人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

<プラネタリウム サマーコンサート 星空と音楽のシンフォニー～銀河鉄道に乗って～>

☆開催日 平成29年7月8日(土)

☆開催時間 ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演奏 加賀谷 玲さん、吉久 亜紀さん、斎藤 三弥さん、阿部 梓穂さん、
Hiroko さん、hana さん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 449人(1回目226人、2回目223人)

※6月3日(土)から観覧券の前売販売を開始

<プラネタリウム クリスマスコンサート「ケルト・北欧の調べ～オーロラの輝く夜に～」>

☆開催日 平成29年12月16日(土)

☆開催時間 ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演奏 hatao & nami

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 447人(1回目224人、2回目223人)

※11月4日(土)から観覧券の前売販売を開始

<プラネタリウム ファミリーコンサート「おさむ&めぐみ、ダリオ&クリスと歌って遊ぼう」>

☆開催日 平成30年2月17日(土)

☆開催時間 ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演奏者 坂田 おさむさん、坂田 めぐみさん、ダリオさん、クリスさん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 474人(1回目244人、2回目230人)

※1月6日(土)から観覧券の前売販売を開始

観覧者総数 1,370人



サマーコンサートの様子



クリスマスコンサートの様子



ファミリーコンサートの様子

プラネタリウム演劇

宇宙劇場の機能を効果的に活用した演劇を開催した。

<「シンデレラストーリー」>

☆開催日 平成29年6月25日(日)

☆開催時間 ①10時30分～11時30分 ②13時30分～14時30分

☆演奏 郡山演劇研究会「ほのお」

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 446人(1回目218人、2回目228人)

※5月13日(土)から観覧券の前売販売を開始

<「きみとモンスター」>

☆開催日 平成29年9月24日(日)

☆開催時間 10時30分～12時

☆出演 雑貨団

☆演奏回数 1回

☆観覧者数 168人

※8月19日(土)から観覧券の前売販売を開始



プラネタリウム演劇
「シンデレラストーリー」の様子



プラネタリウム演劇
「きみとモンスター」の様子

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約 6 分の 1 に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10 時～17 時 30 分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30 分ごとに 10 人程度

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10 時～17 時 30 分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30 分ごとに 7 人程度

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10 時～17 時 30 分（随時）※土・日・祝日・学校長期休業期間中は
10 時 20 分から 17 時 40 分まで 20 分ごとに整理券を配布
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 1 回 8 人

(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2 ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約 20 分間）

- ☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30 人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成29年 4月	磁石を使って 実験しよう!	45 回	455 人	磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って鉄球を飛ばす実験などを行った。
平成29年 5～6月	プルプル科学	85 回	1,216 人	巨大化するスライムを作り、ゲルの特徴を説明した。力を加えたり振動を与えることで、性質が変わる物質を紹介した。
平成29年 7～8月	見た目にだまされ るな!光の実験	110 回	1,520 人	サーモグラフィを用いて赤外線分布を調べた。紫外線を特殊な紙に照射すると絵が浮かび上がる実験などを行った。
平成29年 9～10月	サバイバルの科学	98 回	990 人	人が生き抜くために必要なものである水、火、防災グッズを紹介した。必要なものを得るために行う手順について実験を通して説明した。
平成29年 11～12月	あっ!と驚く 圧力の科学	84 回	829 人	マシュマロの周りの空気を抜いて気圧を低下させると、マシュマロ内部の空気の押す力でマシュマロが膨らむ実験を行った。圧力実験器を用いて水圧で潰れていくゴム膜の様子などを見た。
平成30年 1～2月	静電気で大実験	72 回	798 人	静電気が起きる仕組みを身近な物を使って紹介した。また、ビニールひもを細かく裂いたものを静電気の力で浮かべたり、バンデグラフで静電気を体感する実験などを行った。
平成30年 3月	魔法の粉で 大実験	61 回	637 人	高吸水性ポリマーを使用して水がなくなる実験や、洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると信じられない量の泡が発生する実験など、粉を用いた実験を行った。
平成29年5月 (ゴールデン ウィーク)	燃える科学	5 回	156 人	物が燃えるには三つの要素が必要なことを紹介した。また、燃える物によって独自の色を放つ炎色反応の実験などを行った。
平成29年 7・8月 (夏休み)	びっくり! 超低温の世界	40 回	970 人	液体窒素の中に花やボールなどを入れて凍らせる実験や、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。

参加者数 7,571 人



プルプル科学の様子



サバイバルの科学の様子



あっ!と驚く圧力の科学の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約 20 分間)

☆開催時間 ① 11 時 30 分～、② 14 時 30 分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成29年 4月	レンズで実験 しよう!	52 回	432 人	凹レンズや凸レンズなどを使い、その形や見え方の違いを実験した。また、組み合わせることで望遠鏡などに利用することも実験した。さらに、簡易ルーペの工作を行った。
平成29年 5月	生き物たちの 見る世界	42 回	155 人	動物や昆虫、魚類など、生き物たちの目には世界がどう見えているかをテーマに、認識できる光の波長の違いや、視力や視野の違いなどを実験した。また、魚の見え方を体験できる道具の工作を行った。
平成29年 6月	さまざまな プラスチック	52 回	507 人	プラスチックをテーマに、身近で多く使われるようになった理由や、特殊なプラスチックを使った実験を行った。また、発泡スチロールがオレンジ由来の成分に溶けることを利用したネームプレートの工作を行った。
平成29年 7月	暑さに負けるな! 太陽のひみつ	53 回	861 人	太陽をテーマにその成分や光、地球への影響について実験した。また、太陽光発電にもふれ、太陽の位置によって発電量が変わることも紹介した。さらに、夏にちなんだ日時計うちわの工作を行った。
平成29年 8月	山のふしぎ	60 回	1,290 人	山の日にちなみ、山をテーマに実験を行った。山のでき方の実験や、山が浸食される実験。そして、湧水がきれいなわけや、山でお菓子の袋がふくらむ理由も実験した。また、山登りに大事な方位磁石の工作を行った。
平成29年 9月	月って どんなところ?	52 回	495 人	月面環境の特徴である「真空」「低重力」をキーワードに地球環境との比較実験を行った。真空中の水の沸騰や、密度の違う物の落下の違い、さらに、朝日や夕日の有無などを実験した。また、地球から見た月の模様に関する工作を行った。
平成29年 10月	塩の科学	52 回	477 人	塩をテーマに実験を行った。氷の温度を塩で変える実験や、塩で洗濯のりの水分をとる塩析の実験などを行った。また、岩塩の劈開という性質を利用した実験や、岩塩のアクセサリ作りを行った。

平成29年 11月	カタチの科学	52 回	309 人	身近なものの形について実験を行った。三角形をはじめとした多角形や円が身近なところでどのような役割でどのように使われているか、マンホールや耐震構造などを例に実験した。また、タングラムの工作を行った。
平成29年 12月 平成30年 1月	鏡に映る自分は 本当の自分？ ミラーの科学	86 回	900 人	企画展に合わせて、鏡をテーマに実験を行った。凹面鏡や凸面鏡の実験のほか、アナモルフォーシスや合わせ鏡で映る像が増えていく実験も行った。最後に、万華鏡の工作を行った。
平成30年 2月	けいたいカイロを つくろう♪ “発熱の秘密”	48 回	342 人	冬の寒い時季にちなみ、カイロのしくみについて、実験・観察を行った。カイロの材料やその性質を実験することで、カイロが温くなる理由を学んだ。最後は手づくりのけいたいカイロを制作した。
平成30年 3月	浮いたり沈んだり! 浮力のふしぎ	56 回	636 人	浮き沈みをテーマに実験を行った。ポップコーンを使った実験や、身近な物の浮き沈み実験、また、鉄の船がなぜ浮かぶのかも実験した。さらに、工作として浮沈子を制作した。

参加者数 6,404 人



生き物たちの見る世界の様子



暑さに負けるな! 太陽のひみつの様子



鏡に映る自分は本当の自分?
ミラーの科学の様子

ロボットショー

<ロボットショー>

二足歩行ロボット「パルミー」「ロボベえ」によるダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間

① 12 時 30 分～、② 15 時 30 分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆開催回数 296 回

☆参加者数 4,492 人



ロボットショーの様子

<ロボット展示>

声を掛けると返事したり、ダンスをしたりする犬型のロボット「アイボ」や、自由に

触ることができるセラピー用アザラシ型メンタルコミットロボット「パロ」などを展示し、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けた。

わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等で開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
かざぐるま	空気でくるくる回る、かざぐるまを製作した。
ミニこいのぼり	こいのぼりにちなんだペーパークラフトを製作した。
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
種、たね、タネ!	より遠くまで飛ぶためにさまざまに進化した種の形を紙で製作した。
タングラム	カードの合わせ方次第でさまざまな形に変えることができるカードを製作した。
くるくるツリー	好みにデコレーションした回転式ツリーを製作した。
偏光万華鏡	偏光板を使って、光の見え方を観察できる万華鏡を製作した。

(3) パソコン工房

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。（約 50 分間）

☆開催時間 土曜日 13 時 30 分～（イベント開催日は除く。）

☆開催場所 パソコン工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16 人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成29年 4月	アイロンプリント シール作り	4回	20人	自分の顔写真を使用して、名前のシールを製作した。
平成29年 5月	スリットフォト カード作り	3回	22人	自分の顔写真と宇宙服の写真が一瞬で切り替わる不思議なカードを製作した。
平成29年 6月	下じき作り	4回	23人	イラストなどを使用したオリジナルの下じきを製作した。
平成29年 7・8月	ストラップ作り	3回	38人	自分の顔写真が入ったオリジナルのストラップを製作した。
平成29年 9月	シール作り	5回	43人	オリジナルのフレームに顔写真を入れた、シールを製作した。
平成29年 10月	ペン立て作り	3回	21人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのペン立てを製作した。

平成29年 11月	ポストカード作り	4回	20人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのポストカードを製作した。
平成29年 12月	カレンダー作り	4回	57人	イラストを使用して、オリジナルのカレンダーを製作した。
平成30年 1月	ステッカー作り	4回	33人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのステッカーを製作した。
平成30年 2月	クリアファイル作り	4回	19人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのクリアファイルを製作した。
平成30年 3月	名刺作り	3回	26人	顔写真やイラストが入った名刺を製作した。

参加者数 322人

(4) 実験工房

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約40分間)

☆開催時間 日曜・祝日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成29年 4月	力で遊ぼう	4回	20人	タピオカストローと糸を使って遠心力で動く飾り物を製作した。
平成29年 5月	混ぜて遊ぼう	3回	50人	紙粘土に洗濯のりなどを混ぜて、ふわふわとしたマシュマロのようなスライムを製作した。
平成29年 6月	水で遊ぼう	4回	40人	水性ペンののにじみ方で変化を楽しめる壁飾りを製作した。
平成29年 7・8月	紫外線で遊ぼう	3回	69人	レジンアクセサリーを製作した。
平成29年 9月	牛乳パックで遊ぼう	5回	51人	牛乳パックで紙漉きをし、ハロウインの飾りを製作した。
平成29年 10月	風で遊ぼう	4回	41人	アルミパイプでウインドベルを製作した
平成29年 11月	リサイクルで遊ぼう	6回	95人	サラダ油と凝固剤を使い、アロマキャンドルを製作した。
平成29年 12月	段ボールで遊ぼう	4回	96人	段ボールをカットし、歯車のように重ねて動きを楽しめるクリスマス用の置物を製作した。
平成30年 1月	覗いて遊ぼう	5回	59人	カットティングミラーを組み合わせることで、よって見え方の違いを楽しめるペーパークラフトを製作した。
平成30年 2月	あたためて遊ぼう	5回	67人	砂糖でべっこうあめを作った。また、おゆまるを使って、ストラップアクセサリーを製作した。

平成30年 3月	空気で遊ぼう	4回	44人	色紙をとストローを使って、くるくる回る風車を製作した。
-------------	--------	----	-----	-----------------------------

参加者数 632人

(5) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 2,662人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッココップ等40種類）、サイエンスショー（パワフル空気の力、超低温の世界）、ロボットショー

(6) Nゲージ鉄道ジオラマショー

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の①11時～、②15時～、
③17時～（約20分間）

☆見学者数 6,551人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料金 200円（約5分間）

☆運転者数 2,174人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(7) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ゴールデンウィーク：平成 29 年 5 月 3 日（水・祝）～ 7 日（日）

10 時～ 17 時

夏期：平成 29 年 7 月 15 日（土）～ 17 日（月・祝） 10 時～ 17 時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウィーク：2,313 人

夏期：2,727 人

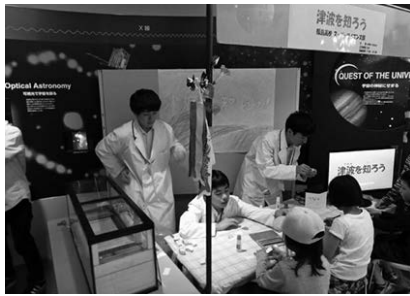
☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山高等学校、福島県立あさか開成高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、郡山女子大学附属高等学校、帝京安積高等学校、日本大学東北高等学校、福島工業高等専門学校、郡山市立郡山第三中学校、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム個人会員、ムシテックワールド、新福島芸能倶楽部、折紙造形・四季折々、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウィーク>

ガウス加速器って？、津波を知ろう、的当てゲーム、シャーベット作り、ふわふわスライム、クッションシートグライダー、無限に食べられるチョコレート！？、ダイラタンシー実験、スーパーボールを作る、こいのぼりなど

<夏期>

くるくるまわるオブジェを作ろう、水そうに浮かぶシャボン玉を作ろう、☆ピカ 10 とプラキー☆※ポケモンじゃないヨ☆、恐竜を折ろう、電気で作ろうホットケーキ、バルーンアート、ブンブンごま、パタパタマグネットなど



福島県立福島高等学校の様子



新福島芸能倶楽部の様子



スペースパークボランティアの会の様子

夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 平成 29 年 7 月 19 日 (水) ～ 8 月 24 日 (木) 10 時～ 17 時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加団体 福島県立郡山萌世高等学校、福島大学、福島県ハイテクプラザ、折紙造形・四季折々、スペースパークボランティアの会

☆内 容 飛び出すゴーストメガネ、魔鏡を作ろう、へびダンスなど 16 種類の工作メニューを数日ごとに替えて行った。

理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生が、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを実演や実験をしながら実施した。

☆開催日時 平成 29 年 7 月 22 日 (土)

① 10 時 30 分～ 12 時 小学校 1・2 年生向け

② 14 時～ 15 時 30 分 小学校 3～6 年生向け

☆開催場所 実験工房

☆講 師 小学校 1・2 年生：横田 俊徳先生 (穂積小学校)

橋本 向意先生 (守山小学校)

小学校 3～6 年生：宍戸 智紀先生 (芳山小学校)

樽井 佳子先生 (宮城小学校)

☆参加者数 82 人



小学校 1・2 年生向けの様子



小学校 3～6 年生向けの様子

3 資料の収集・展示等

(1) 資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

宇宙開発の資料収集

日本の宇宙開発についての理解に有益な資料について、今年度下表のとおり資料を収集した。

資料名	寄贈・借用元
ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	公益財団法人日本宇宙少年団（借用）
H-IIB ロケット（1/25 模型）	公益財団法人日本宇宙少年団（借用）
H-IIA ロケット（1/40 模型）	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（寄贈）

(2) 資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	寄贈：国立天文台野辺山宇宙電波観測所
スペースフロンティア	宇宙服（レプリカ）	
	さわれる宇宙服（レプリカ）	所有：日本宇宙少年団（借用）
	H-IIA ロケット フェアリング	所有：JAXA（借用）

宇宙劇場において、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
ホワイエ	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用
	プラネタリウム投影機 M-2 型投影機 惑星棚	寄贈：杉並区教育委員会

(3) 資料の解説

展示解説

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

展示解説シート

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配

布した。

たんけんシート

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

4 教育普及活動

(1) 講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

第 32 回星の講演会

<ハビタブルプラネット～生命を宿す惑星の条件～>

☆講 師 田近 英一 氏（東京大学 教授）

☆開催日時 平成 29 年 11 月 18 日（土） 16 時～ 17 時 30 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 89 人

☆内 容 東京大学で地球や太陽系内外の天体について研究している田近英一先生から生命を育む惑星について講演いただいた。講演では、プラネタリウムの全天映像や星空を映し出しながらわかりやすくお話していただいた。



開催中の様子



講師の田近氏への質問の様子

第 33 回星の講演会

<驚異の視力で見る宇宙～アルマ望遠鏡～>

☆講 師 平松 正顕 氏（国立天文台チリ観測所 助教）

☆開催日時 平成 30 年 2 月 3 日（土） 16 時～ 17 時 30 分

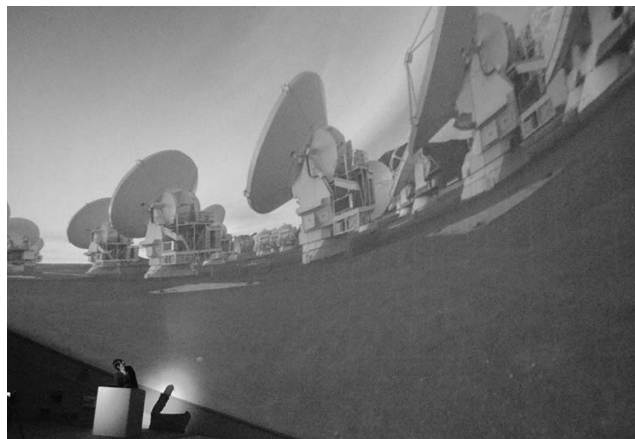
☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 155 人

☆内 容 国立天文台チリ観測所の平松先生から南米チリにあるアルマ望遠鏡とその成果について講演いただいた。講演では、プラネタリウムの全天映像による現地の風景と併せてわかりやすくお話していただいた。



開催中の様子



現地風景の様子

スターレクチャー

< 4 K映像で楽しむ『空のふしぎ』 >

☆講師 武田 康男 氏（空の探検家）

☆開催日時 平成 29 年 10 月 28 日（土） 14 時～ 15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 34 人

☆内 容 気象予報士や写真家などを経て「空の探検家」として活動する武田康男先生から空の様々な現象について講演いただいた。講演では、武田先生が撮影した 4 K の映像を大型のスクリーンに映し出した。



講座の様子



講座の様子

(2) 講座・体験学習・ワークショップ

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

< 福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱 >

第 1 回「土と水のふしぎなサイエンス どろだんごづくり」

☆講師 新井 浩 氏（福島大学教授）

☆開催日時 平成 29 年 9 月 17 日（日） 14 時～ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 1 年生以上（小学 4 年生以下は保護者同伴）

☆参加者数 19 名

☆内 容 土と水をテーマに科学講座を行った。土と水を適切な割合で配合し、「こねる」、「みがく」といった処理を丁寧に行うことで、光沢のあるどろだんごづくりを行った。



「土と水のふしぎなサイエンス
どろだんごづくり」の様子

第2回「進化系スーパーボールを作ろう！」

☆講 師 佐藤 理夫 氏（福島大学教授）

☆開催日時 平成 29 年 10 月 15 日（日）

14 時～ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 3 歳以上（小学生未満は保護者同伴）

☆参加者数 29 人

☆内 容 ゴムの原料にもなっているラテックスを材料に、スーパーボールづくりを行った。また、配合を変更したり、ビーズなどを追加したりした、進化系オリジナルスーパーボールづくりも行った。



「進化系スーパーボールを作ろう！」の様子

第3回「水と金属の不思議なサイエンス」

☆講 師 大山 大 氏（福島大学教授）

☆開催日時 平成 29 年 10 月 29 日（土）

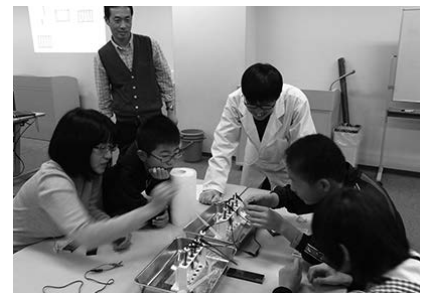
13 時 30 分 ～ 15 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 3 年生～一般

☆参加者数 23 人

☆内 容 水と金属をテーマにした実験講座を行った。手回し発電機を使った水の電気分解実験や、電気分解で発生させた水素と酸素による燃料電池の実験、さらに銅のコインをメッキして、金色のコインや銀色のコインを制作する実験を行った。



「水と金属の不思議なサイエンス」
の様子

<日本大学工学部との連携事業>

「不思議なカタチ、テンセグリティーを作ろう！」

☆講 師 ガン ブンタラ ステンリー 氏（日本大学工学部 教授）

☆開催日時 平成 29 年 11 月 26 日（日）

14 時～ 15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室



「不思議なカタチ、テンセグリティーを作ろう！」の様子

☆対 象 小学生～中学生

☆参加者数 25 人

☆内 容 棒状のものの両端を紐状のものでつないで、棒同士が互いに接触しないようにした構造（テンセグリティ）について、橋や宇宙空間の構造物への利用や人体にも見られるというお話や、棒と紐を使ったテンセグリティ作りを行う講座を開催した。

「橋をつくろう！」

☆講 師 笠野 英行 氏(日本大学工学部専任講師)

☆開催日時 平成 30 年 1 月 28 日 (日)

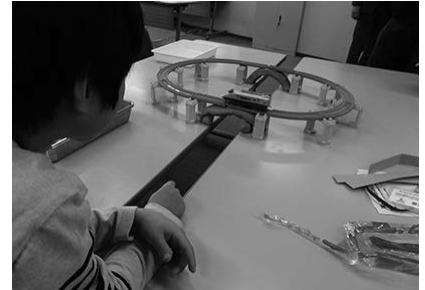
14 時～ 15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 4 年生～一般

☆参加者数 20 人

☆内 容 身近な「橋」に関する講座を開催した。講座では、厚紙で作った 3 種類の橋（まっすぐな橋、直角に曲がった橋、アーチ状の橋）の強さ比べの実験、ねんどの橋を作っておもちゃの電車を渡らせる実験、また、発泡スチロールを使ったアーチ橋づくりの工作を行った。



「橋をつくろう!」の様子

＜科学技術週間 一家に 1 枚 ポスター解説ミニ講座＞

☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 平成 29 年 4 月 23 日 (日)

11 時～ 11 時 15 分、14 時～ 14 時 15 分

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 22 人

☆内 容 文部科学省で毎年制作している一家に 1 枚ポスターシリーズの 13 作目である「生きものすべては細胞から」ポスターの解説および、「細胞」に関する実験として、タマネギの細胞や参加者の口内細胞の観察を行ったほか、再生医療の話も紹介した。



「一家に1枚 ポスター解説ミニ講座」の様子

＜科学ゼミナール「折り紙ヒコーキ教室」＞

☆講 師 齋藤 秀男 氏 (折り紙ヒコーキ協会 福島支部指導員)

☆開催日時 平成 30 年 1 月 21 日 (日) 14 時～ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生 (小学 2 年生以下は保護者同伴)

☆参加者数 18 人

☆内 容 紙 1 枚を、切り貼りなしで折るだけで作



科学ゼミナール「折り紙ヒコーキ教室」の様子

る折り紙ヒコーキについて、講座を開催した。講座では、飛行機についてのお話や、さまざまなポイントを講師に教わりながら、よく飛ぶ折り紙ヒコーキを制作した。また、最後に参加者が制作した折り紙ヒコーキを使って、飛距離と滞空時間を競う大会も開催した。

<科学ゼミナール「香りの魅力～オリジナル香水を作ってみよう～」>

☆講 師 宇田川 亜希氏（曾田香料株式会社 調香師）

☆開催日時 平成 30 年 2 月 24 日（土）

13 時 30 分～ 16 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 5 年生～一般（小学生は保護者同伴）

☆参加者数 30 人

☆内 容 曾田香料株式会社と連携し、香りに関する講座を開催した。香りや香水に関する講話や、3 種類の香料を参加者が自由に組み合わせて、オリジナルの香水を製作した。



科学ゼミナール「香りの魅力～オリジナル香水を作ってみよう～」の様子

<科学ゼミナール「震災復興支援 家族ロボット教室」>

☆講 師 株式会社 富士通コンピュータテクノロ
ジーズのみなさん

☆開催日時 平成 30 年 2 月 25 日（日）

13 時 30 分～ 16 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学校 3 年生～6 年生と、そのご家族

☆参加者数 14 組 29 人

☆内 容 株式会社富士通コンピュータテクノロ
ジーズと連携して「プログラミング」に関する講座を開催した。講座は、「ロボット組立て」「プログラミング」「ロボットレース大会」の 3 部構成で、参加者は親子でロボットのプログラミングに取り組んだ。



「震災復興支援 家族ロボット教室」の様子

<郡山市立美術館連携事業「アニメのしくみを体験しよう！

かんたん、びっくり！写真をオリジナルの絵にしよう」>

☆講 師 菅野 洋人 氏（郡山市立美術館職員）

富岡 進一 氏（郡山市立美術館職員）

新田 量子 氏（郡山市立美術館職員）

百川 純也（郡山市ふれあい科学館職員）

☆開催日時 平成 30 年 3 月 4 日（日） 14 時～ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生以上（小学 2 年生未満は保護者同伴）



開催の様子

☆参加者数 20 人

☆内 容 郡山市美術館と連携し、美術と科学の両面から捉えた「ゾートロップ」、
「オリジナル絵画」の制作とその仕組みについての解説を行った。

<科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 平成 29 年 11 月 3 日 (金)
11 時～16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 190 人

☆内 容 「すごいぜ水素、環境にはどんな放射能があるだろうか、 α 線が作る雲を見てみよう（東北放射線科学センター）、手作り！キラキラ・スーパーボール、やわらかい砂、かたい砂～液状化のふしぎ～、リモコンオルゴールをつくろう、超・つめた～い！氷の世界と超電導のふしぎ、UV チェックストラップをつくろう」の実験を行った。科学館のブースでは、「コケコッココップ」の工作を行った。



科学技術への誘い開催の様子

コズミックカレッジ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携し小学 1 年生～4 年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆開催日時 平成 29 年 11 月 5 日 (日) 10 時 30 分～15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 1 年生～4 年生と保護者

☆講 師 赤間 祐市 氏（郡山市立永盛小学校教諭 宇宙教育リーダー）

佐野 亮二 氏（郡山市立郡山第三中学校教諭 宇宙教育リーダー）

岩瀬 勇一 氏（郡山市立郡山第三中学校講師）

梅本 顕史・恵川 司・橋本 宏克（郡山市ふれあい科学館職員）

☆参加者数 22 組 (38 人)

☆内 容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の小・中学校の先生が講師となり、宇宙に関する実験・工作教室を行った。今回は、「火星へ！」をメインテーマに「(1) 地球から火星へ！、(2) 火星に住もう！1～太陽のめぐみ～、(3) 火星に住もう！2～地球となにが違うの？～」という 3 部構成で、火星に行くためのロケットに関する実験・工作、火星で暮らすためのエネルギー源としての太陽の実験、そして、火星環境と地球環境の比較をテーマとして、クイズや実験を行ったほか、火星儀の制作も行い、宇宙への夢を膨らませていただいた。



講師紹介



ドライアイスの実験の様子

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に3期開催した。

<第1期：『星のソムリエ』になりませんか？>

☆開催回数 8回（平成29年5月～11月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	平成29年5月24日(水)19時～21時	30人
星座を見つけよう	平成29年6月14日(水)19時～21時	27人
望遠鏡のしくみ	平成29年7月12日(水)19時～21時	31人
望遠鏡を使ってみよう	平成29年8月30日(水)19時～21時	29人
宇宙はどんな世界	平成29年9月20日(水)19時～21時	31人
星空の文化に親しむ	平成29年10月18日(水)19時～21時	25人
星空案内の実際	平成29年11月1日(水)19時～21時	25人
特別講座：講演会及び認定証授与式	平成29年11月12日(日)15時～18時	41人

延べ参加者数 239人

<第2期：「日本から宇宙へ ～宇宙開発のあゆみ～」>

☆開催回数 4回（平成29年10月～平成30年1月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
ペンシルロケットから始まった宇宙への一歩	平成29年10月25日(水)19時～21時	27人
ロケットのあゆみ	平成29年11月29日(水)19時～21時	29人

宇宙探査機のあゆみ	平成30年 1 月10日(水)19時～21時	21 人
有人宇宙探査のあゆみ	平成30年 1 月24日(水)19時～21時	22 人

延べ参加者数 99 人

<第3期：「教科書の中の宇宙 ～学びなおしの天文学～」>

☆開催回数 3 回 (平成 30 年 2 月～3 月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開 催 日 時	参加者数
小中学校で学ぶ天文学	平成30年2月21日(水)19時～21時	28 人
高校で学ぶ天文学	平成30年3月 7 日(水)19時～21時	27 人
大学で学ぶ天文学	平成30年3月21日(水)19時～21時	28 人

延べ参加者数 83 人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子



天文カレッジ第3期講座の様子

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 24 回（うち天文カレッジ内 8 回）

☆受講者総数 395 人

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日 平成 29 年 11 月 12 日 (日)

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 星空案内人 2 人、星空案内人 (準案内人) 18 人

☆内 容 資格認定証授与

記念講演

講師：小野 智子 氏（国立天文台広報専門員）

天体望遠鏡操作講習会

天体望遠鏡の操作の習熟を図り、天体観察をより幅広く行うことができるよう、操作講習を実施した。

☆開催日時 平成 29 年 8 月 30 日（水） 19 時～ 21 時

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 29 人

☆内 容 天体望遠鏡の組み立て方、観察方法などの実技に関する講習
（天文カレッジ 第 1 期講座内で実施）

(3) 天体観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般（当日自由参加）

開 催 日 時	観望内容	参加者数
平成29年 4 月 8 日(土)19時～20時	月など	悪天候のため中止
平成29年 5 月 6 日(土)19時～20時	月・木星など	悪天候のため中止
平成29年 6 月 3 日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	約 60 人
平成29年 7 月 1 日(土)19時30分～20時30分	月・木星・土星 など	悪天候のため中止
平成29年 8 月26日(土)19時～20時	月・土星など	約 100 人
平成29年 9 月30日(土)18時～19時	月・土星など	悪天候のため中止
平成29年10月28日(土)17時30分～18時30分	月・土星など	悪天候のため中止
平成29年11月25日(土)17時～18時	月など	約 130 人
平成30年 3 月24日(土)18時30分～19時30分	月など	約 50 人

参加者総数 約 340 人



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

(4) 企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テ ー マ	展 示 期 間
誕生日の星座たち	平成29年3月1日(水)～4月30日(日)
世界の天文台	平成29年5月2日(火)～6月30日(金)
天の川探訪	平成29年7月1日(土)～8月27日(日)
武田康男 空のふしぎ写真展	平成29年9月1日(金)～10月31日(火)
月のながめ	平成29年11月2日(木)～12月30日(土)
ほうき星 彗星	平成30年1月2日(火)～2月28日(水)
第5回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	平成30年3月3日(土)～5月31日(木)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 平成29年4月～平成30年3月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 64回

スペースパーク企画展「3D ゴーストハウスの科学」

平面なものを立体的にみせる「3D」。その仕組みを学んで、3Dメガネをかけて「ゴーストハウス」で3D効果を体験できる企画展を開催した。

☆開催日時 平成29年7月15日(土)～平成29年8月24日(木) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 27,632人

☆展示内容 3D解説パネル展示ゾーン、映像ショック展示ゾーン、3Dゴーストハウスゾーンなど



廊下に行列ができている様子



解説パネル展示ゾーン内

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅、JR貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 平成29年10月7日(土)～9日(月・祝)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室、実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,164人

☆内 容 (1) 「きかんしゃトーマスとなかまたち」コーナー

トーマスに関する木製レールジオラマ、アイキャッチディスプレイ、CGバナーを展示した。

(2) 鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11時、13時、15時、17時からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

(3) Nゲージ鉄道車両操作体験東北地域を走る新幹線の連結の様子を模型で再現して展示した。

(4) 鉄道関連写真展示

JR東日本郡山駅の協力により、郡山駅の歴史に関する貴重な写真を展示した。

(5) プラレール車両操作体験コーナー

プラレール製の車両操作体験を行った。

(6) 手回しトロッコ体験コーナー

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

(7) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(8) 顔出しパネルコーナー

大きな新幹線の写真をバックに記念写真を撮ることが出来るコーナーを設置した。

(9) 手回し発電ミニジオラマ

手回しの動力で発電させ、Nゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(10) ミニチュアリニアモーターカーコーナー

磁石の力で動く本格的なミニチュアリニアモーターカーを展示し、走行させた。

(11) 工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、「種！タネ！たね！」作りを行

った。

(12) プラレールコーナー

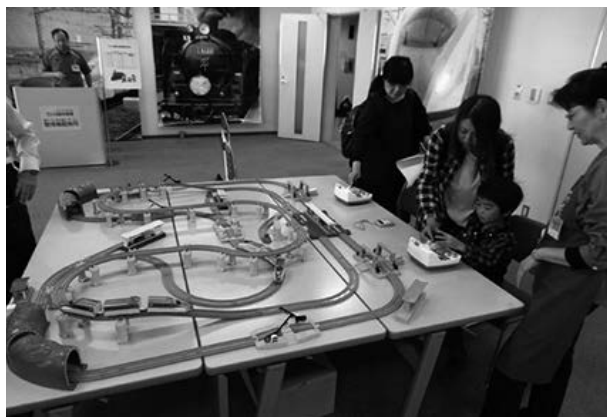
プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(13) 特設コーナーイベント

JR 貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部の協力により、鉄道に関する商品やゲームを紹介した。



「きかんしゃトーマスとなかまたち」コーナーの様子



プラレール車両操作体験コーナーの様子

スペースパーク企画展「びっくり！鏡の不思議な世界 鏡の魔法展」

鏡の持つ特性を活かして、サイズを変えたり、何枚も組み合わせたり、重ねるなどして作られた不思議なミラー作品を紹介する企画展を開催した。

☆開催日時 平成 29 年 12 月 2 日(土)～平成 30 年 1 月 8 日(月・祝) 10 時～17 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 15,402 人

☆展示内容 ミラーメイズ、3D鏡の通路、変身鏡、円と四角、よじ登る壁、鏡の部屋、消えない手、ならく、反重力の鏡、無限の世界、宙に浮くサイコロ、テーパー顔万華鏡、人間万華鏡、透き通る身体、二重人格、ガレージ屋根、気まぐれパイプ、トランプのたわむれ、円と正方格子、満月と6角星、消える鶏、飛び移る鶏



よじ登る壁の様子



ミラーメイズの様子

ロボットで遊ボット！

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校との連携事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校、福島県立白河実業高等学校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 平成30年3月24日(土)～4月5日(木) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 3,491人

<ロボットワークショップ>

福島県立郡山北工業高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 平成30年3月31日(土) 14時～16時

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 19人

<スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成30年3月25日(日) 14時～15時、4月1日(日) 14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 32人(各日16人)



ロボット展示・操作体験の様子



ロボット展示・操作体験の様子



スペースパーク春場所 ロボット相撲大会の様子



ロボット工作ワークショップの様子

科学技術の「美」パネル展

科学技術団体連合が研究者から公募した、さまざまな研究の過程や成果などで生まれた「美しい現象」や「見たことのない」画像のパネル展を開催した。

☆開催期間 平成30年1月27日(土)～
2月25日(日)

☆開催場所 展望ロビー



科学技術の「美」パネル展開催の様子

(5) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 平成29年4月～平成30年3月

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、日本大学東北高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
平成29年6月20日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	交流会の話、星空の紹介	39人
平成29年7月11日(火)	ミューカルがくと館	太陽観察	27人
平成29年9月12日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	望遠鏡の使い方	18人
平成29年10月17日(火)	宇宙劇場	星景写真の撮影法の紹介	11人
平成29年11月14日(火)	多目的研修室	活動発表会	0人

参加者総数 95人

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。また、理科教材の企画立案への助言を行った。

(6) アウトリーチ事業（出前講座）

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	平成29年5月20日(土) 19時～20時30分	赤木 地域公民館	赤木 地域公民館	約 60 人	月・木星の観察、 星の見方の紹介など
第2回	平成29年6月4日(日) 19時30分～21時	高瀬小学校	高瀬 地域公民館	約 70 人	月・木星・土星の観察、 星の見方の紹介など
第3回	平成29年7月8日(土) 19時30分～21時	富田東 地域公民館	富田東 地域公民館	約 90 人	月・木星・土星の観察、 星の見方の紹介など
第4回	平成29年8月27日(日) 19時～20時30分	桑野 地域公民館	桑野 地域公民館	約 50 人	月・木星・土星の観察、 星の見方の紹介など
第5回	平成29年9月2日(土) 18時30分～20時	三穂田 公民館	三穂田 公民館	約 10 人	月・土星の観察、日食 の紹介など
第6回	平成29年10月7日(土) 18時30分～20時	富久山 公民館	富久山 公民館	約 90 人	望遠鏡の見え方の紹介、 月の観察など
第7回	平成29年11月4日(土) 18時～19時30分	大槻東 地域公民館	大槻東 地域公民館	約 20 人	月・観察、 星の見方の紹介など

参加者総数 約 390 人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	平成29年5月24日(水) 14時～14時45分	薫小学校	136人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第2回	平成29年6月20日(火) 13時45分～14時45分	富田東小学校	310人	「風船ロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第3回	平成29年7月14日(金) 13時40分～14時20分	桃見台小学校	82人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第4回	平成29年8月30日(水) 13時20分～14時00分	高瀬小学校	51人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第5回	平成29年9月8日(金) 14時40分～15時40分	小山田小学校	165人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第6回	平成29年10月3日(火) 13時50分～14時35分	高野小学校	66人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第7回	平成30年2月27日(火) 15時15分～16時00分	白岩小学校	25人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。

参加者総数 835人



工作の様子



実験の様子

講師派遣

各種機関や公共施設などの団体からの依頼に応じて、当館の職員を講師として派遣した。

<大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 平成29年8月6日(日) 18時30分～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

<郡山市あさかの学園大学の授業>

☆派遣日時 平成29年10月3日(火) 10時10分～11時

☆派遣場所 ビッグアイ7階 大会議室

<日本プラネタリウム協議会全国研修会・黒部>

☆派遣日時 平成29年11月27日(月)～29日(水)

☆派遣場所 黒部市吉田科学館

<郡山市PTA連合会第53回研究大会>

☆派遣日時 平成29年11月28日(火) 12時30分～13時30分

☆派遣場所 郡山市民文化センター

<名倉公民館女性学級「桜スマイル」>

☆派遣日時 平成29年12月1日(金) 9時30分～11時30分

☆派遣場所 名倉地域公民館

<県中地域医療安全研修会>

☆派遣日時 平成30年2月20日(火) 18時40分～20時15分

☆派遣場所 須賀川市民文化センター

ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

<ふくしま森の科学体験センター開館記念イベント『ムシテック祭り』>

☆開催日時 平成29年11月12日(日) 9時30分～16時

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

<サイエンスアゴラ2017>

☆開催日時 平成29年11月24日(金)～25日(土) 10時～16時

☆開催場所 東京・お台場 テレコムセンタービル

(7) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

☆開催回数 7回(平成29年6月～平成30年2月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

メニュー	開催日時	参加者数
星空観察をはじめよう	平成29年 6 月10日(土)18時30分～20時	62 人 (保護者を含む。)
望遠鏡を作ろう	平成29年 7 月 1 日(土)9時45分～11時45分	18 人
天体観望会 ～月を見てみよう～	平成29年 9月30日(土)18時30分～20時	58 人 (保護者を含む。)
いろいろな天体 ～惑星から銀河まで～	平成29年10月14日(土)9時45分～11時45分	17 人
オリジナル星座をつくろう	平成29年11月11日(土)9時45分～11時45分	23 人
復習・予習 天文ニュース!	平成30年 1 月13日(土)9時45分～11時45分	19 人
身近なところで宇宙実験!	平成30年 2 月10日(土)9時45分～11時45分	19 人

延べ参加者数 216 人



天体観望会の活動の様子



オリジナル星座作りの様子

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第3・第4土曜日 10時～12時

☆開催回数 7回(平成29年6月～平成30年2月)

☆開催場所 実験工房

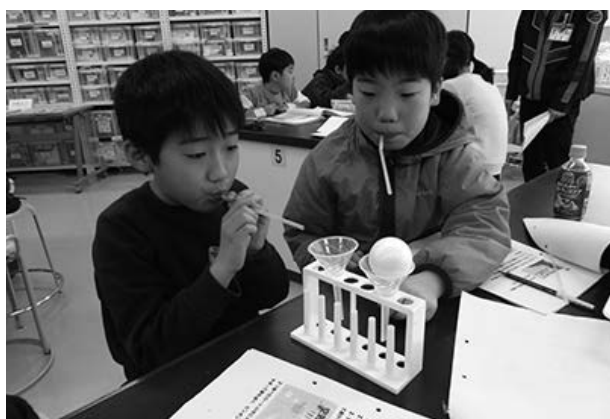
☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 50人(Aクラス:25人、Bクラス:25人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
空気の力	A	平成29年6月17日(土)	22人
	B	平成29年6月24日(土)	24人
シャボン玉の科学	A	平成29年7月8日(土)	23人
	B	平成29年8月26日(土)	16人

小さな世界をのぞいてみよう	A	平成 29 年 9 月 16 日 (土)	23 人
	B	平成 29 年 9 月 23 日 (土)	21 人
生き物のカラダを調べよう	A	平成 29 年 10 月 21 日 (土)	17 人
	B	平成 29 年 10 月 28 日 (土)	14 人
木の科学	A	平成 29 年 11 月 18 日 (土)	19 人
	B	平成 29 年 11 月 25 日 (土)	23 人
マグネットパワーで実験	A	平成 30 年 1 月 20 日 (土)	20 人
	B	平成 30 年 1 月 27 日 (土)	17 人
空の科学	A	平成 30 年 2 月 17 日 (土)	17 人
	B	平成 30 年 2 月 24 日 (土)	20 人

延べ参加者数 276 人



空の科学の様子



生き物のカラダを調べようの様子

科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第 1・第 2 土曜日 10 時～12 時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7 回 (平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月)

☆対 象 小学 3 年生～中学 3 年生

☆クラブ員 32 人 (A クラス : 16 人、B クラス : 16 人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
名刺を作ろう	A	平成 29 年 6 月 3 日 (土)	11 人
	B	平成 29 年 6 月 10 日 (土)	13 人
エコバッグを作ろう	A	平成 29 年 7 月 1 日 (土)	13 人
	B	平成 29 年 7 月 8 日 (土)	14 人

ロボットを作ろう	A	平成 29 年 9 月 2 日 (土)	11 人
	B	平成 29 年 9 月 9 日 (土)	15 人
コンピュータミュージックを作ろう	A	平成 29 年 9 月 30 日 (土)	11 人
	B	平成 29 年 10 月 14 日 (土)	14 人
ポストカードを作ろう	A	平成 29 年 11 月 4 日 (土)	9 人
	B	平成 29 年 11 月 11 日 (土)	12 人
DVDを作ろう	A	平成 29 年 12 月 2 日 (土)	13 人
	B	平成 29 年 12 月 9 日 (土)	10 人
アルバムを作ろう	A	平成 30 年 2 月 3 日 (土)	14 人
	B	平成 30 年 2 月 10 日 (土)	14 人

延べ参加者数 174 人



「エコバッグを作ろう」の様子



「ポストカードを作ろう」の様子

(8) 作品募集

第 17 回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

☆テ ー マ ワクワク夢見る宇宙生活

☆募集締切 平成 29 年 9 月 30 日 (土)

☆応募作品 静止画部門 小学生以下の部 212 点 中学生の部 74 点 一般 (高校生以上) の部 87 点
動画部門 21 点

☆審査委員 新井 浩 氏 (福島大学 教授)

伊藤 峰洋 氏 (有限会社峰洋デザイン代表)

内田 章 氏 (学校法人新潟総合学院 FSG カレッジリーグ事業企画部
新環境事業室長)

金子 伸之 氏 (郡山市教育委員会 教育研修センター 指導主事)

菅野 洋人 氏（郡山市立美術館 主任主査）
 西村 憲 氏（会津大学 上級准教授）
 本田 文一 氏（福島県立清陵情報高等学校 教諭）
 渡部 信幸 氏（郡山市立安積中学校 教諭）
 佐久間 政彦（郡山市ふれあい科学館長）

☆展示期間 平成 29 年 11 月 4 日（土）～平成 29 年 1 月 8 日（月・祝）
 ※表彰式：平成 29 年 11 月 19 日（日） 10 時 30 分～ 11 時

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品 < 静止画部門【大賞】館長賞 >
 「小学校の町探検」
 加藤 環さん（郡山市立郡山第三中学校 1 年生）

< 静止画部門【準賞】スペースパーク賞 >
 「宇宙のバカンス」
 山口 聡さん（郡山市立行健第二小学校 5 年生）
 「ささやかな食事」
 杉田 安良さん（福島県立福島高等学校 2 年生）

< 静止画部門 小学生以下の部 優秀賞 >
 「宇宙人は友達」
 遠藤 直喜さん（郡山ザベリオ学園小学校 5 年生）
 「天の川でつり大会」
 田中 翔さん（郡山市立芳山小学校 6 年生）
 「宇宙人達の楽しい生活」
 渡部 ひかりさん（会津若松市立門田小学校 5 年生）

< 静止画部門 中学生の部 優秀賞 >
 「わくわく宇宙栽培キッド」
 星 空さん（本宮市立本宮第二中学校 2 年生）
 「スペースインターナショナルスクール」
 酒井 紳伍さん（郡山市立郡山第三中学校 3 年生）
 「月での生活」
 根本 大翔さん（郡山市立郡山第三中学校 1 年生）

< 静止画部門 一般（高校生以上）の部 優秀賞 >
 「まだ、誰も知らない宇宙の「形」」
 岩本 拓也さん（KCS 福岡情報専門学校 1 年生）
 「ふわふわおせんたく」
 太田 紗楠さん（KCS 福岡情報専門学校 1 年生）
 「ある日常」
 渡辺 樹さん（国際アート＆デザイン大学校 1 年生）

< 動画部門【大賞】館長賞 >
 「りっくんのいちにち」

三瓶 奈々子さん、清野 晴香さん、後藤 紗希さん（国際アート
& デザイン大学校 2 年生）

< 動画部門【準賞】スペースパーク賞 >

「うさぎの餅つき」

都丸 恵梨香さん（群馬県立渋川青翠高等学校 3 年生）

「宇宙ステーションの日常」

石井 大智さん、市川 勝己さん

（国際アート & デザイン大学校 2 年生）

< 学校賞 >

会津若松市立門田小学校（応募数 15 点）

郡山市立郡山第三中学校（応募数 22 点）

KCS 福岡情報専門学校（応募数 76 点）



静止画部門【大賞】館長賞
「小学校の町探検」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「宇宙のバカンス」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「ささやかな食事」

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

< 第 5 回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト 作品展示 >

☆テ ー マ 福島県内で撮影された「星・月の風景」

☆募集期間 平成 29 年 10 月 1 日（日）～平成 29 年 11 月 30 日（木）

☆協 賛 （株）シグマ、（株）ケンコー・トキナー

☆後 援 福島県・郡山市観光協会・福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島
島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞東京本社福島支局・産経新聞福島
支局・NHK 福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テ
レビユー福島・ラジオ福島・ふくしま FM・郡山コミュニティ放送

☆応募作品 351 点（106 人）

☆審 査 員 鈴木 一雄 氏（自然写真家）、渡部 潤一 氏（天文学者）、佐久間 政
彦（郡山市ふれあい科学館長）

☆受賞作品 大賞 1 点、名誉館長特別賞 1 点、審査員特別賞 2 点、特別賞 5 点、入賞
31 点

☆展示期間 平成 30 年 3 月 3 日(土)～5 月 31 日(木)

※表彰式：平成 30 年 3 月 3 日(土) 14 時 30 分～15 時

☆展示場所 ホワイエ

☆出版物 「ふくしま星・月の風景 Vol.5 ー第 5 回ふくしま星・月の風景 作品写真集ー」



【大賞】「月と遊ぶ」



表彰式の様子



審査の様子

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

石川展

☆展示期間 平成 29 年 10 月 1 日(日)～11 月 30 日(木)

☆展示場所 いしかわ子ども交流センター (石川県金沢市)

☆主催共催 いしかわ子ども交流センター

☆内 容 第 4 回コンテスト選出写真 37 点

三鷹展

☆展示期間 平成 30 年 2 月 23 日(金)～4 月 15 日(日)

☆展示場所 天文・科学情報スペース (東京都三鷹市)

☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース

☆内 容 第 4 回コンテスト選出写真 37 点

※3 月 11 日(日)に小野智子氏とトークショーを実施

いわき展

☆展示期間 平成 30 年 3 月 3 日(土)～25 日(日)

☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)

☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ

☆内 容 第 1 回～第 4 回コンテスト選出写真 30 点

「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

☆主 催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日

本科学未来館、リモート・センシング技術センター、日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

☆後援 内閣府宇宙戦略推進事務局

☆メディアパートナー 朝日新聞デジタル

☆テーマ 月へ

☆部門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成29年5月2日（火）～7月31日（月）

☆応募作品 97点（小学生部門：57点、中学生部門：40点）

☆審査員 遠藤 彩子氏（郡山市立桃見台小学校教諭）

穴戸 賢一氏

<表彰式>

☆開催日時 平成29年10月1日（日） 11時～11時30分

☆開催場所 多目的研修室

<受賞作品展>

各部門で受賞した作品を22階展望ロビーに展示した。

☆展示期間 平成29年10月1日（日）～10月15日（日）

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品

<小学生部門【最優秀賞】>

十文字 仁胡さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年）

<小学生部門【優秀賞】>

木村 太陽さん（本宮市立本宮まゆみ小学校1年）

田中 翔さん（郡山市立芳山小学校6年）

<小学生部門【佳作】>

太田 里美さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校2年）

熊田 理乃さん（郡山市立芳賀小学校4年）

松谷 洸里さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年）

<中学生部門【最優秀賞】>

鳴戸 萌絵さん（郡山市立郡山第五中学校3年）

<中学生部門【優秀賞】>

小林 里緒さん（郡山市立郡山第五中学校1年）

藤沼 みちるさん（郡山市立郡山第五中学校3年）

<中学生部門【佳作】>

一條 莉乃さん（郡山市立郡山第五中学校3年）

神山 裕理さん（郡山市立郡山第五中学校3年）

嶋 綾香さん（郡山市立郡山第五中学校2年）



表彰式後の記念撮影



小学生部門【最優秀賞】
十文字 仁胡さん



中学生部門【最優秀賞】
鳴戸 萌絵さん

(9) 社会的弱者に配慮した事業

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。(字幕作成協力：郡山市要約筆記サークル)

☆ 開催日時 平成 29 年 10 月 21 日(土) 12 時 30 分～13 時 15 分

☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「ブラックホールが見える?!」

☆ 観覧者数 40 人

☆ 開催日時 平成 30 年 3 月 31 日(土) 13 時～13 時 45 分

☆ 内 容 プラネタリウムキッズアワー「うちゅうのおはなし『ほしみるおじさん』と星空めぐり」

☆ 観覧者数 45 人

(10) 出版

科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、学校等教育施設などに配付した。

☆A 4 カラー 8 ページ 63 号～66 号(年間 4 回)

☆発行部数：10,000 部 / 各号

(11) 情報発信

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年 5 回発行した。

☆構成：A 4 カラー 4 ページ

☆発行総数：435,000 部

学校・団体利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に

応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

☆構成：A 4 白黒 28 ページ

☆発行部数：5,000 部

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数：278 回

☆参照回数：280,858 回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数：12 回

☆配信先：919 か所（平成 30 年 3 月現在）

テレビ、新聞等による情報発信

夏休みイベント及び春休みイベントの告知を行うため、夏休み期間及び春休み期間にテレビ広告を行った。また、年末年始の誘客を図るため、新聞広告を行った。そのほかタウン誌、フリーペーパー、観光雑誌、子育て情報誌などへ積極的に記事の投稿を行い、情報発信に努めた。

5 調査・研究・発表

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。また、当館の活動事例の発表も行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年6月5日～7日	全国プラネタリウム大会・広島 2017 (広島市こども文化科学館)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査および当館の事例発表
平成 29 年9月 11 日 ～ 13 日	日本天文学会 2017 秋季年会 (北海道大学札幌キャンパス)	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査
平成 29 年9月 16 日 ～ 17 日	天文教育普及研究会東北支部研究会 (八戸市児童科学館)	天文教育に関する調査および当館の事例発表

(2) 天文関連先進館調査

プラネタリウム投映などの最新の天文関連活動のありかたを調査し、事業の企画及び内容の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年 11 月 27 日 ～ 29 日	日本プラネタリウム協議会全国研修会・黒部 (黒部市吉田科学館)	プラネタリウム解説手法及び天文事業に関する研修

(3) 天文関連最新情報調査

プラネタリウム投映における最新の技術や手法の情報を入手し、新たな教育普及活動の可能性を調査研究した。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年 11 月 13 日 ～ 15 日	JGSS フィルムフェスティバル2017 (四日市市立博物館、109 シネマズ四日市)	最新のドーム映像作品に関する調査
平成 30 年2月 18 日 ～ 20 日	第8回国際科学映像祭ドームフェスタ (ギャラクシティ)	プラネタリウム番組制作手法に関する調査

(4) 天文学術会議調査

最新の天文学や天文普及の手法に関する調査研究及び発表を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年9月 11 日 ～ 13 日	日本天文学会 2017 秋季年会 (北海道大学)	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査
平成 30 年3月 24 日 ～ 26 日	世界天文コミュニケーション会議 2018 in 福岡 (福岡市科学館)	最新の天文普及に関する調査及び当館の事例発表

(5) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、協議会・学術会議などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年 10 月 4 日 ～ 5 日	全国科学館連携協議会 平成 29 年度 第 1 回東北ブロック会議 (二戸市シビックセンター)	東北地方の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査
平成 29 年 11 月 24 日 ～ 25 日	全国科学館連携協議会 平成 29 年度 国内研修 (日本科学未来館)	全国の科学館に関する情報収集及び施設視察
平成 30 年 2 月 15 日 ～ 16 日	平成 29 年度第 2 回全国科学博物館協議会総会及び第 25 回研究発表大会 (福岡市科学館)	全国の科学博物館に関する情報収集及び施設視察

(6) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業が出展する展示会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年 6 月 28 日	第 3 回 先端コンテンツテクノロジー展 (東京ビッグサイト)	映像・音響・VR などの展示手法への利用について、全国の企業が出展する展示会の視察
平成 29 年 11 月 23 日	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2017 (ビッグパレットふくしま)	ロボット・航空宇宙関連産業に関する製品・技術を一堂に紹介する展示会の視察
平成 29 年 12 月 9 日	宇宙教育リーダーセミナー (角田市スペースタワー・コスモハウス)	宇宙教育の手法や進め方、また、教材や演示実験の題材等の研修受講
平成 30 年 2 月 11 日	宇宙教育リーダーセミナー (サンシャイン 60 55 階 (一財) 日本気象協会)	宇宙教育の手法や進め方、また、教材や演示実験の題材等の研修受講

(7) 展示系学術発表

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、当館のサイエンスショーや工作ワークショップ等の運営や実施担当者の技術向上を図るため、サイエンスショーや工作ワークショップ等の名人が全国から集まる大会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 30 年 2 月 4 日	第 25 回日立サイエンスショーフェスティバル (日立シビックセンター)	全国の実験名人によるサイエンスショーの実演を視察

6 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ギアボックスを用いた歩く動物やマックスウェルのコマなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月1回 日曜日（平成29年5月～平成30年2月）10時～12時

☆開催場所 実験工房

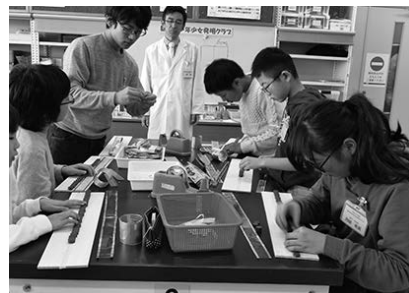
☆開催回数 10回

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、
小野 一豊氏、横田 俊徳氏

☆内 容 モーターを使って作ろう、
おもしろ万華鏡、ストローを使って楽器を作ろうなど



クラブ活動の様子

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動が続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活 動 日 平成29年4月～平成30年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 望遠鏡工作、天体観測など

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

<第1回運営協議会>

☆開催日時 平成29年6月7日（水） 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第1回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成29年8月2日（水） 15時～17時

☆開催場所 コワーキングスペース コオリヤマ

<第2回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成29年10月13日（金） 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第2回運営協議会>

☆開催日時 平成30年3月14日(水) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

こどもまつり

郡山市から第52回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミュージカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力した。

☆開催日時 平成29年5月5日(金) こどもの日 10時～15時

☆開催場所 ミュージカルがくと館 2階観測室及び練習室

☆活動内容 天体望遠鏡での天体観測と科学工作(ふうせんロケット、簡易分光器)

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、今年度14年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成29年3月1日(水)～4月30日(日)	平成29年5月21日(日)	平成29年6月11日(日)

※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催した。

※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催した。



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	11人	39人	34人	84人
平成 29 年度登録者	1人	6人	3人	10人
合 計	12人	45人	37人	94人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	41人	43人	49人	32人	3人	73人	6人	5人
平成 28 年度登録者	5人	5人	7人	2人	1人	9人	0人	1人
合 計	46人	48人	56人	34人	4人	82人	6人	6人

☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	1人	9人	7人	7人	20人	35人	13人	2人

※ 80 代は、90 代含む

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活動日時 平日：午前の部（9 時 30 分～ 13 時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9 時 30 分～ 13 時）

午後の部（12 時 30 分～ 16 時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 256 時間

☆延べ活動人数 81 人

○科学グループボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）
午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 1,696 時間

☆延べ活動人数 461 人

○天文グループボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 97 時間

☆延べ活動人数 52 人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
郡山なかまち夢通り わくわくフェスタ	平成29年7月1日(土) 11時～16時	なかまち夢通り	—	科学工作
ぐるっと湖南伝承会	平成29年7月21日(金) 8月10日(木) 9時30分～11時30分	少年湖畔の村	51 人	科学工作
星空観察	平成29年7月21日(金) 19時～20時30分	希望ヶ丘児童セン ター	約 30 人	天体観望会
星空観察	平成29年7月22日(土) 19時～20時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 60 人	天体観望会
星空観察	平成29年7月29日(土) 19時30分～21時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 35 人	天体観望会
産業技術総合研究所 福島再生可能エネ ルギー研究所一般公開	平成29年7月29日(土) 9時30分～16時	産業技術総合研究 所福島再生可能エ ネルギー研究所	—	科学工作
星空観察	平成29年8月5日(土) 18時30分～20時30分	須賀川市中央公 民館	約 60 人	天体観望会
星空観察会	平成29年8月19日(土) 19時～20時30分	三穂田公民館	約7人	天体観望会
安子ヶ島子ども教室	平成29年8月20日(日) 19時～20時30分	安子ヶ島小学校	約 30 人	天体観望会
熱海公民館	平成29年8月21日(月) 10時～12時	熱海小学校 / 安子 ヶ島小学校	約 34 人	科学工作
星空観察	平成29年8月26日(土) 19時30分～21時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 15 人	天体観望会

方八町第三子供会	平成29年9月2日(土) 10時～12時	芳賀公民館	—	科学工作
ハイテクプラザ	平成29年9月10日(日) 10時～16時	ハイテクプラザ	—	科学工作
星空観察	平成29年9月16日(土) 18時～20時	少年湖畔の村	約 27 人	天体観望会
大成なかよしクラブ	平成29年10月14日(土) 10時～12時	大成地域公民館	30 人	科学工作
安積地区市民文化祭	平成29年10月21日(土) 10時～15時30分	安積総合学習センター	—	科学工作
郡山なかまち夢通り「ウィンターフェスティバル2018」	平成29年11月5日(日) 10時～16時	なかまち夢通り	—	科学工作 天文工作 紙芝居
あさかながもりキッズフェスタ(旧こども暮れのつどい)	平成29年11月19日(日) 9時30分～13時	安積総合学習センター	—	科学工作
熱海地区 三世代交流会	平成30年1月6日(土) 10時～13時	熱海公民館	—	科学工作

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 平成 30 年 3 月 3 日 (土) ・ 4 日 (日) 10 時 ～ 16 時

☆開催場所 22 階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 昔なつかし紙芝居、昔遊び体験

科学グループ 偏光万華鏡作り

天文グループ 星座早見盤づくり、望遠鏡観察



昔遊び体験（案内グループ）



偏光万華鏡工作科学グループ）



星座早見盤づくり（天文グループ）

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催日 平成29年5月3日（水・祝）～7日（日）

☆メニュー こいのぼり

○サイエンスフェスティバル パートⅡ（夏休み）

科学グループ

☆開催日 平成29年7月15日（土）～17日（月・祝）

☆メニュー ぶっとびロケット

○夏休み工作コーナー

科学グループ

☆開催日 平成29年8月14日（月）・15日（火）

☆メニュー ぶっとびロケット

案内グループ

☆内容 来館者への案内・会員所有の旧国鉄・JR関連の鉄道資料の展示、説明
鉄道ジオラマショーの解説

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

☆開催回数 9回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

☆開催回数 7回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

- ☆開催回数 1回
- ☆開催場所 大安場史跡公園
- ☆内 容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<科学グループ研修>

○第 18 回 科学ボランティアツアー（自主研修）

- ☆開催日 平成 29 年 5 月 14 日（日）
- ☆開催場所 ムシテック
- ☆参加者数 10 人

<科学グループ自主勉強会>

○第 15 回 科学ボランティア勉強会

- ☆開催日 平成 29 年 7 月 2 日（日）
- ☆テーマ 科学の雑記ネタ～光の三原色など
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 15 人

○第 16 回 科学ボランティア勉強会

- ☆開催日 平成 30 年 1 月 14 日（日）
- ☆テーマ 花のくすだま（工作講習）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 18 人

<平成 29 年度総会>

平成 29 年度活動報告、役員選出案、平成 30 年度活動計画案を審議し、満場一致で承認した。また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行った。今年度は、10 人が受賞した。

- ☆開催日時 平成 30 年 3 月 11 日（日） 13 時 30 分～14 時 30 分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 75 人（委任状含む。）

<茶話会>

- ☆開催日 平成 30 年 3 月 11 日（日）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 25 人
- ☆内 容 グループ内での交流会



総会の様子



茶話会の様子

< S.P.V 広報活動 >

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.V の活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.V つうしん」を年4回発行した。



S.P.V つうしん第 53 号



S.P.V つうしん第 54 号



S.P.V つうしん第 55 号



S.P.V つうしん第 56 号

(3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 平成 29 年 9 月 6 日 (水) ～ 13 日 (水)
 ※ 11 日 (月) を除く 7 日間
 ☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等
 ☆実 習 生 4 人
 郡山女子大学短期大学部文化学科：2 人
 八州学園大学生涯学習学部生涯学習学科：1 人
 千葉科学大学危機管理学部危機管理学科：1 人

実 習 日	実 習 内 容
平成29年9月6日(水)	開講式、実習説明、展示見学、番組見学、接遇研修、宇宙劇場機器説明
7日(木)	団体対応実習、展示実習、番組見学、クラブ活動対応準備
8日(金)	展示実習、館内対応・クラブ活動対応実習、劇場実習
9日(土)	展示実習、番組見学催し物対応実習
10日(日)	展示実習発表準備、同発表
11日(月)	休館日
12日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
13日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

(4) インターンシップ（就業体験）受入れ

大学インターンシップ

大学の正規授業であるインターンシップ（就業体験）の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行った。

☆開催期間 平成 29 年 8 月 7 日 (月) ～ 18 日 (金)
 ☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等
 ☆研 修 生 1 人（福島大学共生システム理工学類）

中学校職場体験

中学校2年生の正規授業である職場体験学習の学生を研修生として受け入れ、科学館における実際の仕事を体験することで、働くことの苦労や喜びを実感し、職業への興味・関心を高める教育に貢献するための研修を行う。

<郡山市立郡山第三中学校職場体験学習>

☆開催日 平成29年6月30日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 3人

<郡山市立郡山第一中学校職場体験学習>

☆開催日 平成29年11月8日(水)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 4人

教員向け企業等体験研修

福島県教育委員会の事業である企業等体験研修の教員を研修生として受け入れ、豊かな人間性やコミュニケーション力、広い視野などの教員として求められる資質、能力の向上を図る教育に貢献するための研修を行う。

<福島県立郡山支援学校教諭企業等体験研修>

☆開催日 平成29年7月25日(火)～28日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 1人

<福島県立須賀川支援学校教諭企業等体験研修>

☆開催日 平成29年7月25日(火)～28日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 1人

<福島県立あぶくま支援学校教諭企業等体験研修>

☆開催日 平成29年8月1日(火)・2日(水)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 2人

Ⅲ 平成 29 年度広報・サービス活動

1 広報 P R 活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

テレビスポット

☆期間等 平成 29 年 7 月 15 日～8 月 20 日

福島テレビ、15 秒スポット 90 本

☆内 容 夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」・スペースパーク企画展「3 Dゴーストハウスの科学」

☆期間等 平成 29 年 12 月 3 日～27 日

福島テレビ・福島放送、15 秒スポット 63 本

☆内 容 冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」・スペースパーク企画展「びっくり！鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」

☆期間等 平成 30 年 3 月 3 日～31 日

福島放送、15 秒スポット 20 本

☆内 容 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」・春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」

新聞広告

☆掲載日等 平成 29 年 12 月 21 日・平成 30 年 1 月 3 日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」・スペースパーク企画展「びっくり！鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」

(2) 広報紙及び雑誌・看板等

広報紙を県内各地に配布したほか、市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビル入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館の P R に努めた。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (118) 市外 (347)
小学校	市内 (58)、市外 (385)

中学校	市内 (29)、市外 (200)
特別支援学校	県内 (23)
公民館	市内 (40)、市外 (77)
関係機関・道の駅など	市内 (98)、市外 (81)

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を県内外に広く紹介するため、特に県内保育所、幼稚園、小中学校や県外旅行代理店をきめ細かく訪問し、来館者の底辺の拡大を図るための営業活動を積極的に展開した。

営 業 訪 問 先	
幼稚園・保育所	市内 (13)、市外 (42)
小学校	市内 (58)、市外 (91)
中学校	市内 (29)、市外 (46)
市町村教育委員会	市外 (1)
市町村公民館	市外 (21)、県外 (12)
旅行代理店・観光施設	県外 (19)
ホテル・商店・病院など	ホテル (20)、観光業者 (5)、商店 (15)、病院 (4)、その他 (20)

Ⅳ 平成 30 年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

＜番組投映開始時刻＞ ※投映時間は約 45 分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分		19 時 (※)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	19 時 (※)

※金曜日のみ投映

※夏休み期間及び秋・冬・春期間は別途番組開始時刻を定め実施

プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
宇宙はじまりの物語 ～ビッグバン～	平成30年4月1日(日)～4月30日(月)
はやぶさ2 小惑星に到着！	平成30年5月2日(水)～6月30日(土)
火星大接近中！～赤い惑星のひみつ～	平成30年7月1日(日)～8月31日(金)
天の川ツアー	平成30年9月1日(土)～10月31日(水)
流れ星を見る！	平成30年11月1日(木)～12月30日(日)
星のふしぎな正体 ～星の"トップスター"～	平成31年1月2日(水)～2月28日(木)
宇宙の体重のなぞ ～ダークマター・ミステリー～	平成31年3月1日(金)～3月31日(日)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により投映回は異なる。）

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	平成30年4月1日(日)～5月27日(日)
たなばたのものがたり	平成30年6月2日(土)～8月17日(金)
かぐやひめのおはなし	平成30年8月18日(土)～9月30日(日)
あきのせいざを見つけよう	平成30年10月6日(土)～11月25日(日)
うちゅうたんけんに出かけよう!	平成30年12月1日(土)～平成31年1月27日(日)
ふゆのほしめぐり	平成31年2月2日(土)～3月31日(日)

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

投映時間：7/14～7/16、夏休み期間（7/21～8/24）の第1・3・5回目、10/6～11/30の第5回目、冬期間（12/2～1/8）の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目

番組タイトル	投映期間
グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記	平成30年4月1日(日)～4月5日(木)
ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊	平成30年7月14日(土)～7月16日(月)、 7月21日(土)～8月26日(日)
星の旅ー世界編ー	平成30年10月6日(土)～12月2日(日)
ポラリス ルシアと流れ星の秘密	平成30年12月8日(土)～平成31年1月7日(月)
星の旅ー世界編ー	平成31年3月1日(金)～3月31日(日)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

番組タイトル	投映日
星空ライブ60 ～こどもの日スペシャル!～	平成30年5月5日(土)
七夕伝説	平成30年7月7日(土)

星まつりの夜～ゆかた de プラネタリウム!～	平成30年8月2日(木)～4日(土)
星空ライブ 60 ～夏休みスペシャル～	平成30年8月8日(水)・9日(木)
中秋の名月	平成30年9月22日(土)・23日(日)
星空ライブ 60 ～秋の星空編～	平成30年10月13日(土)
Christmas Night ～星空からのプレゼント～	平成30年12月24日(日・振)・25日(火)
星空ライブ 60 ～冬の星空編～	平成31年1月12日(土)
大探訪! 4次元デジタル宇宙 ～コンピュータが解き明かした最新宇宙像～	平成31年2月～3月の土曜

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	投映期間
星座を見つけよう (小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日 (第1・2回目)
日なたと日かげ (小学校中学年以上)	
月と星の動き (小学校中学年以上)	
月と太陽 (小学校高学年以上)	
地球と宇宙 (中学生以上)	
宇宙のお話 (中学生以上)	

幼児番組

※学習番組枠で希望により投映 (幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
ほしぞらのどうぶつたち	平成30年4月～5月
たなばたのほしとあまのがわ	平成30年6月～7月

つきにいつてみよう！	平成30年8月～9月
ながれぼしをさがそう	平成30年10月～11月
おたすけじぞう～すばるぼしのおはなし～	平成30年12月～平成31年3月

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。（字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記サークル」）

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。
（年2回実施予定）

☆定 員 各220人

（2）音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催日時 平日（祝日・学校休業期間等を除く。）15時30分～16時15分、
土曜・日曜・祝日17時～17時45分、毎週金曜日19時～19時45分

☆観 覧 券 当日発売

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

<サマーコンサート>

☆開催日時 平成30年7月8日（土）①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演 奏 者 伊澤 陽一さん、愛川 聡さん、田ノ岡 三郎さん

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

<ウィンターコンサート>

- ☆開催日時 平成30年12月2日(日) ①14時30分～15時30分 ②17時～18時
- ☆演奏者 加賀谷 玲さん、吉久 亜紀さん、富樫 亜紀さん、斎藤 三弥さん、hana さん、MIGA さん
- ☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定員 各 220 人

<ファミリーコンサート>

- ☆開催日時 平成31年2月11日(月・祝) ①11時～12時 ②13時30分～14時30分
- ☆出演者 ワンワン
- ☆観覧料 無料(往復ハガキで申込み、抽選)
- ☆定員 各 各 220 人

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約20分間)

- ☆開催日時 平日 10時30分～、13時～
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度
- ☆内容 ビリリッ！電気の科学実験、不思議な素材で大実験、びっくり！超低温の世界など

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。(約20分間)

- ☆開催日時 毎日 11時30分～、14時30分～
(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度
- ☆内容 カラフルサイエンス、ゆらゆらドキドキ！バランスの科学、酸・アルカ

リを調べようなど

ロボットショー

パソコン等でロボットを操作し、あいさつやダンスなどの様々なパフォーマンスショーを開催する。また、自由に触れたり声をかけたりして、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けて楽しむとともに、今後のロボット技術への興味関心を高める。(約15分間)

<ロボットショー>

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度

<ロボット展示>

- ☆展示場所 展示ゾーン トリプルスピンの前

わくわくカウンター

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

- ☆開催日 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等)に開催)
- ☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 科学工作
科学に関する情報提供(科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示)
宇宙メダカの展示

(3) パソコン工房

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

- ☆開催日時 土曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 16人
- ☆内容 下じき作り、ストラップ作り、カレンダー作りなど

(4) 実験工房

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料などを使用して科学工作教室を開催する。

(約 40 分間)

- ☆開催日時 日曜・祝日 13 時 30 分～（イベント開催日は除く。）
- ☆開催場所 実験工房
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30 人
- ☆内 容 リサイクルで遊ぼう、光で遊ぼう、溶かして遊ぼうなど

(5) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会、高齢者等の団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」、楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」、パソコンを使った簡単な紙工作などができる「パソコン工房の利用」、幼児から楽しめる「ロボットショー」、各展示物の見どころが分かる「ガイドツアー」を開催する。

- ☆開催時間 平日の午前・午後に 1 回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）
- ☆開催場所 多目的研修室、実験工房、パソコン工房、展示ゾーン
- ☆対 象 小中高校等の学校、子ども会など
- ☆定 員 ワークショップ、サイエンスショー各 50 人程度
パソコン工房利用の場合 16 人以下
ロボットショー 50 人程度
ガイドツアー 30 人程度
- ☆内 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉ごま、ぶつとびロケット、乾電池チェッカー、ぶくぶく入浴剤、シートレンズ投影機などの 40 メニュー）
サイエンスショー（パワフル空気のパワー、超低温の世界）
パソコン工房の利用（写真入りカード、星座早見盤）
ロボットショー（ロボットを使用したショー）
ガイドツアー（展示物の見どころを分かりやすく紹介）

N ゲージ鉄道ジオラマ

線路幅が 9mm の N ゲージ鉄道模型を使い、明治・昭和初期・現代の郡山を再現し、近代郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

- ☆開催時間 開館日の 11 時～、15 時～、17 時～（約 20 分間）

<簡易シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

☆料 金 200 円（約 5 分間）

<ウォールミュージアム>

☆展示時間 随時（開館日 10 時～ 17 時 30 分）

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(6) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催日 ①ゴールデンウィーク期間：平成 30 年 5 月 3 日（木）～ 5 月 6 日（日）、
②夏期期間：平成 30 年 7 月 14 日（土）～ 16 日（月）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外の他機関職員など

☆内容 プラスチックキーホルダーを作ろう、べっこうあめ、サイエンスフラワーほか

夏休み科学工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる工作コーナーを開催する。

☆開催日 平成 30 年 7 月 21 日（土）～ 8 月 26 日（日）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 名探偵ルーペ、指紋を調べよう！、DNA を見てみよう！ほか

理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生を講師に招き、実演や実験を行いながら、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを学べる講座を実施する。

☆開催日時 平成 30 年 7 月 21 日（土）

- ① 10 時 30 分～12 時 小学校 1・2 年生向け
- ② 14 時～15 時 30 分 小学校 3～6 年生向け

☆開催場所 多目的研修室

☆募集人数 各 20 人

3 資料の収集・展示等

(1) 資料の収集保管

郡山市ふれあい科学館のテーマに沿った資料を収集し、保管し、必要に応じ資料台帳を作成し、管理する。

(2) 資料の展示

適時、資料や解説パネルを制作し展示する。

(3) 資料の解説

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

参加者がクイズに答えながら展示ゾーンの主なポイントを巡ることで、展示物への理解を深められるワークシートを設置する。

☆開催日時 随時（開館日 10 時～17 時 45 分）

4 教育普及活動

(1) 講演会

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

<第 34 回星の講演会>

☆開催日時 平成 30 年 11 月 25 日（日） 15 時 30 分～17 時

☆講師 KAGAYA 氏（KAGAYA studio）

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220 人

☆内容 ドーム映像番組「星の旅ー世界編ー」の制作者であり、星景写真家であ

る KAGAYA 氏から撮影された世界各地の星空や作品制作についてのお話を紹介していただく。

<第 35 回星の講演会>

- ☆開催日時 平成 31 年 3 月 2 日(土) 16 時～17 時 30 分
- ☆講師 小久保 英一郎 氏(国立天文台天文シミュレーションプロジェクト)
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆定員 220 人
- ☆内容 スーパーコンピュータで解き明かされた宇宙をわかりやすく紹介していただく。

<スターレクチャー>

- ☆開催日時 平成 30 年 9 月 17 日(月・祝) 14 時～15 時 30 分
- ☆講師 寺藺 淳也 氏(会津大学 准教授)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆定員 30 人
- ☆内容 小惑星探査機「はやぶさ 2」が到着した小惑星「リュウグウ」についてわかりやすく紹介していただく。

<国立天文台からの講師招聘による最新天文学の講座>

- ☆概要 国立天文台から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 6 回程度

(2) 講座・体験学習・ワークショップ

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

- ☆概要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 5 回程度
- ☆連携先 福島大学、日本大学、福島県立博物館など

コズミックカレッジ

宇宙をテーマにした科学教育を通して、科学の楽しさや不思議に触れ、科学への関心や探求意欲を喚起し、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に行う科学教育プログラムであるコズミックカレッジを国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構と共催で開催する。

- ☆内容 キッズコース
- ☆開催日時 平成 30 年 11 月 4 日(日) 10 時 30 分～15 時 30 分
- ☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生～4年生とその保護者

☆募集人数 25組50人

※主催：郡山市・郡山市教育委員会・郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 15回（平成30年5月～平成31年3月）

☆対 象 一般（高校生以上）

☆募集人数 30人

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、24回（通年）

☆対 象 一般（高校生以上）

天体望遠鏡操作講習会

当館で天体望遠鏡を貸し出す事業を実施する。そのため、当館の天体望遠鏡を使用するうえで必要な操作方法等の講習会を市内地域の指導者的な人を対象とし実施する。

（3）天体観望会

天体観望会

一般に大きな話題となりそうな天文現象を対象に、天体に関する興味関心を深めるため、観望する天体に関する講座と観望会を開催する。また、市内地域の指導者的な人を対象とした講座を開催し、受講者が天体観望会を地域で開催する場合には天体望遠鏡を貸し出すことで、天体観望会のすそ野を広げ、科学普及を図る。

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間でも気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催時期 平成30年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、
平成31年3月予定

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般（当日自由参加）

(4) 企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などを、写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

企 画 展 予 定	開 催 期 間 (予定)
第5回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	平成30年3月3日(土)～5月31日(木)
宇宙探査機のあゆみ	平成30年6月2日(土)～8月31日(金)
日本星景写真協会写真展	平成30年9月1日(土)～11月25日(日)
一番身近な星 太陽	平成30年12月1日(土)～平成31年1月27日(日)
KAGAYA 写真展	平成31年2月1日(金)～4月7日(日)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の受賞作品を市内の小中学校に貸出し、宇宙や科学が身近なものとなるよう巡回展を行う。

☆開催期間 平成30年4月～平成31年3月（学校休業期間を除く。）

☆対 象 市内小中学校

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料・グッズを活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 平成30年10月6日(土)～8日(月)

☆開催場所 展望ロビー、研修ゾーン及び多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 鉄道ジオラマショースペシャル、鉄道模型操作体験、プラレールコーナーなど

スペースパーク企画展「犯人はだれだ!～科学捜査にチャレンジ～」

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成30年7月14日(土)～8月26日(日) 10時～17時

☆展示場所 多目的研修室、実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 物語の主人公「名探偵シャーロック・ホームズ」から始まったとされている「科学捜査」。来場者が名探偵となって情報を集め、科学の力で「未

解決事件」の解決に挑戦する企画展を開催する。

スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成30年12月8日(土)～平成31年1月7日(月) 10時～17時

☆展示場所 多目的研修室・実験工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 木製レールジオラマ、迷路ふわふわ、複数のゲーム機などで遊べる企画展。

ロボット展

ロボット製作等に取り組んでいる福島県立清陵情報高等学校、福島県立郡山北工業高等学校、及び福島県立白河実業高等学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作教室も開催する。

☆開催日時 平成31年3月23日(土)～4月7日(日) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 ロボット展示、操作体験

大会やコンテストに出場したロボットの展示や操作体験を行う。

ロボット工作

簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

ロボット大会

展示している操作体験ロボットを使つての競技大会を行う。

(5) 学習支援

ロボット貸出

多くの子どもたちが、ロボットとのコミュニケーションを図る機会を設け、ロボット技術への興味関心を高めていただくために、ロボットの貸し出しを行う。

☆開催期間 平成30年4月～平成31年3月(学校長期休業期間を除く。)

☆対象 市内小中学校

天体望遠鏡貸出

☆開催期間 平成30年4月～平成31年3月

☆対象 天体望遠鏡操作講習修了者

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面から

クラブ活動を支援する。

☆開催時期 平成30年6月、7月、9月、10月、11月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

科学館支援グループ

小中高校大学の先生方から構成されるグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ参加するほか、理科教材製作等の企画を行う。

☆開催期間 通年

(6) アウトリーチ事業（出前講座）

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 平成30年5月から11月まで

☆開催回数 7回（予定）

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定員 各100人程度（各公民館で募集）

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日14時以降（月1回程度）

（ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

(7) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じ、天文学の基礎や天文現象

などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第2土曜日 9時45分～11時45分を基本とする
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場ほか
- ☆開催回数 7回（平成30年6月～平成31年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 30人

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第3・4土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 実験工房
- ☆開催回数 7回（平成30年6月～平成31年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 25人×2クラス（合計50人）

科学情報クラブ

コンピュータを使用し総合的に学習する。色々なソフトウェアを利用して、科学的な興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第1・2土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆開催回数 7回（平成30年6月～平成31年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 16人×2クラス（合計32人）

(8) 作品募集

第18回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図る。

- ☆部門 静止画部門（小学生以下の部・中学生の部・一般（高校生以上）の部）、動画部門
- ☆募集締切 平成30年9月30日（日）
- ☆展示期間 平成30年11月10日（土）～平成31年1月14日（月）
- ☆展示場所 展望ロビー

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、

多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

今年度は、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等

「宇宙の日記念」全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部について共催し募集から審査までを実施する。また、入選作品等の展示会を開催する。

☆部 門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成30年5月～7月31日(火)

☆展示期間 平成30年9月23日(日)～10月7日(日)

☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、一般財団法人リモート・センシング技術センター、一般財団法人日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

(9) 社会的弱者に配慮した事業

プラネタリウム番組投映「キッズアワー」

季節の星座紹介と星座の神話などを組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説のプラネタリウム番組を制作し生解説で投映する。(詳細は1(1)「キッズアワー」参照)

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記サークル」)

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。(年2回実施)

☆定 員 各220人

(10) 出版

年報の発行

年度終了後1年間の活動記録をまとめた年報を発行し、関係機関等に配布する。

科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学実験案内等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、関係機関等に配布する。

(11) 情報発信

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し配布する。

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法をまとめた冊子を作成して、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信する。

テレビ、新聞等による情報発信

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

5 調査・研究・発表

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会が主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行うとともに必要に応じ発表を行う。

先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

6 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 平成30年5月～平成31年2月 毎月1回日曜日(予定) 10時～12時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的

で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

- ☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぶらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぶらっとフォーム」に当館も加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

- ☆開催期間 通年

こどもまつり

- ☆開催日 平成30年5月5日(土)
- ☆開催場所 開成山公園・ミューカルがくと館
- ※主催：こどもまつり実行委員会

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

ー活動開始までの流れー

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内グループ」

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、鉄道ジオラマを含む総合案内や紙芝居
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

「科学グループ」

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

「天文グループ」

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。

☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。

☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

(3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 平成30年9月5日(水)～12日(水)

※10日(月)の休館日を除く7日間

(4) インターンシップ(就業体験)受け入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ(就業体験)や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

V 予算・決算

1 平成 29 年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	2,610	
指定管理料収入	307,470,252	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	32,132,900	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
販売収入	85,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	206,182	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	362,347	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	13,301,277	
合 計	353,560,568	

収入合計 ￥353,560,568

支出 事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	79,915,661	1 職員費 143,379,146
福利厚生費	20,657,367	
臨時雇賃金	42,180,038	2 各種業務委託 65,360,386
旅費交通費	626,080	
通信運搬費	2,118,270	3 光熱水費 22,085,432
消耗什器備品費	918,000	
消耗品費	3,334,150	4 施設管理費 31,389,689
修繕費	1,295,751	
印刷製本費	703,080	
賃借料	7,054,716	
諸謝金	200,000	
手数料	52,660	
租税公課	14,307,905	
負担金支出	63,000	
委託費	65,360,386	
広告宣伝費	384,480	
燃料費	142,721	
光熱水料費	22,085,432	
損害保険料	814,956	
食糧費	0	
合 計	262,214,653	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	0	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	673,590	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	7,601	3 資料の収集・展示等
消耗品費	6,585,514	4 教育普及活動
印刷製本費	8,343,108	5 調査・研究・発表
賃借料	16,960,539	6 その他
諸謝金	634,500	
手数料	23,138	
租税公課	9,600	
負担金支出	25,000	
委託費	23,585,442	
広告宣伝費	3,034,800	
損害保険料	131,750	
食糧費	300,832	
合 計	60,315,414	

支出合計 ￥332,530,067

収支差額 ￥31,030,501

参考

使 用 料 名	金 額	説 明
ふれあい科学館観覧料	31,399,100	宇宙劇場 76,355 人 常設展示 80,533 人 ワンパスポート 106 人
ふれあい科学館使用料	733,800	ピュースコープ利用回数 2,990 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 2,174 回
合 計	32,132,900	

2 平成 30 年度予算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	5,000	基本財産利息収入
指定管理料収入	302,150,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	28,476,000	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	22,000	事業参加者負担金収入
販売収入	150,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	215,000	カフェ光熱水費
雑収入	388,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	16,038,000	
合 計	347,444,000	

収入合計 ￥347,444,000

支出

事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	84,440,000	1 職員費 153,367,000
福利厚生費	22,842,000	
臨時雇賃金	46,085,000	2 各種業務委託費 60,050,000
旅費交通費	679,000	
通信運搬費	2,145,000	3 光熱水費 25,499,000
消耗什器備品費	1,830,000	
消耗品費	3,673,000	4 施設管理費 36,337,000
修繕費	2,164,000	
印刷製本費	1,815,000	
賃借料	7,699,000	
諸謝金	200,000	
手数料	56,000	
租税公課	12,696,000	
負担金支出	75,000	
委託費	60,050,000	
広告宣伝費	432,000	
燃料費	230,000	
光熱水料費	25,499,000	
損害保険料	761,000	
食糧費	25,000	
減価償却費	1,857,000	
合 計	275,253,000	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
旅費交通費	1,439,000	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	915,000	2 展示ゾーン運営
消耗品費	8,526,000	3 資料の収集・展示等
印刷製本費	7,907,000	4 教育普及活動
賃借料	19,870,000	5 調査・研究・発表
諸謝金	1,184,000	6 その他
手数料	118,000	
租税公課	22,000	
負担金支出	21,000	
委託費	27,142,000	
広告宣伝費	4,294,000	
損害保険料	364,000	
食糧費	389,000	
合 計	72,191,000	

支出合計 ￥347,444,000

Ⅵ 施設利用状況

1 月別入館者数

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成29年 4月	14,504	4,308	3,507	7,815
5月	14,761	4,244	4,091	8,335
6月	15,184	6,304	4,852	11,156
7月	30,049	11,361	11,579	22,940
8月	45,749	14,903	19,257	34,160
9月	17,017	6,985	5,426	12,411
10月	15,611	4,931	5,167	10,098
11月	14,139	4,039	2,924	6,963
12月	26,171	6,790	10,198	16,988
平成30年 1月	16,649	4,138	6,716	10,854
2月	11,803	3,633	2,452	6,085
3月	16,803	4,719	4,364	9,083
合 計	238,440	76,355	80,533	156,888

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
合 計	4,148,679	1,135,194	1,148,488	2,283,682

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,523	95	81	5	10	2,669	267	35	4	26	4,192	161	116	4
5月	15	585	39	432	29	11	3,193	290	34	3	26	3,778	145	466	18
6月	18	996	55	3,325	185	8	1,873	234	110	14	26	2,869	110	3,435	132
7月	17	2,893	170	1,851	109	11	6,404	582	213	19	28	9,297	332	2,064	74
8月	21	8,651	412	519	25	9	5,711	635	22	2	30	14,362	479	541	18
9月	16	835	52	3,612	226	10	2,427	243	111	11	26	3,262	125	3,723	143
10月	16	822	51	1,518	95	10	2,470	247	121	12	26	3,292	127	1,639	63
11月	16	882	55	666	42	10	2,463	246	28	3	26	3,345	129	694	27
12月	17	1,485	87	472	28	11	4,806	437	27	2	28	6,291	225	499	18
1月	10	591	59	270	27	12	3,277	273	0	0	22	3,868	176	270	12
2月	15	642	43	244	16	9	2,747	305	0	0	24	3,389	141	244	10
3月	18	1,563	87	105	6	10	3,027	303	24	2	28	4,590	164	129	5
合計	195	21,468	110	13,095	67	121	41,067	339	725	6	316	62,535	198	13,820	44

展示ゾーン

(単位：人)

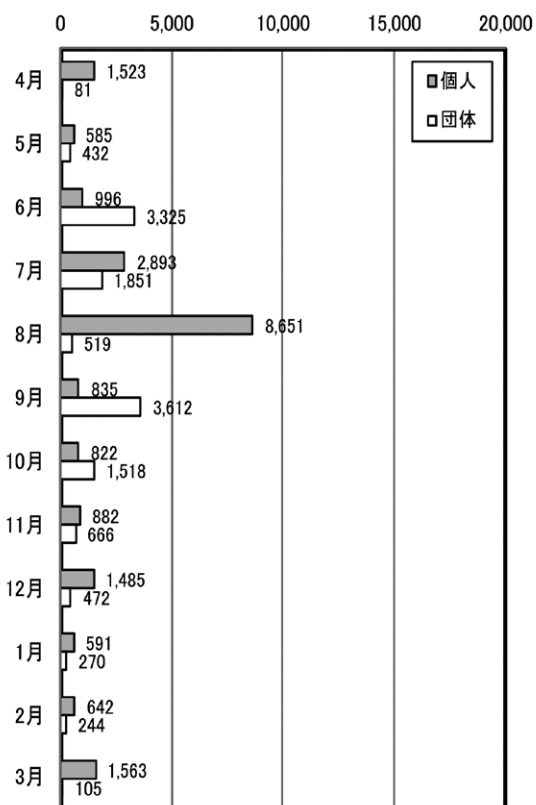
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	959	60	146	9	10	2,367	237	35	4	26	3,326	128	181	7
5月	15	427	28	277	18	11	3,356	305	31	3	26	3,783	146	308	12
6月	18	1,049	58	2,309	128	8	1,460	183	34	4	26	2,509	97	2,343	90
7月	17	3,505	206	725	43	11	7,012	637	337	31	28	10,517	376	1,062	38
8月	21	11,396	543	290	14	9	7,551	839	20	2	30	18,947	632	310	10
9月	16	650	41	2,660	166	10	2,062	206	54	5	26	2,712	104	2,714	104
10月	16	841	53	873	55	10	3,333	333	120	12	26	4,174	161	993	38
11月	16	583	36	321	20	10	1,992	199	28	3	26	2,575	99	349	13
12月	17	2,000	118	100	6	11	8,071	734	27	2	28	10,071	360	127	5
1月	10	832	83	129	13	12	5,683	474	72	6	22	6,515	296	201	9
2月	15	538	36	48	3	9	1,846	205	20	2	24	2,384	99	68	3
3月	18	1,553	86	114	6	10	2,656	266	41	4	28	4,209	150	155	6
合計	195	24,333	125	7,992	41	121	47,389	392	819	7	316	71,722	227	8,811	28

合計

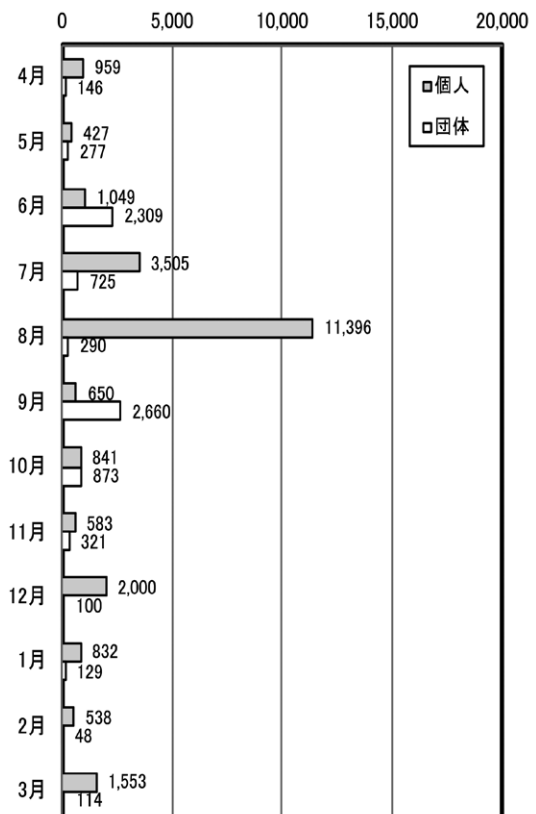
(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	2,482	155	227	14	10	5,036	504	70	7	26	7,518	289	297	11
5月	15	1,012	67	709	47	11	6,549	595	65	6	26	7,561	291	774	30
6月	18	2,045	114	5,634	313	8	3,333	417	144	18	26	5,378	207	5,778	222
7月	17	6,398	376	2,576	152	11	13,416	1,220	550	50	28	19,814	708	3,126	112
8月	21	20,047	955	809	39	9	13,262	1,474	42	5	30	33,309	1,110	851	28
9月	16	1,485	93	6,272	392	10	4,489	449	165	17	26	5,974	230	6,437	248
10月	16	1,663	104	2,391	149	10	5,803	580	241	24	26	7,466	287	2,632	101
11月	16	1,465	92	987	62	10	4,455	446	56	6	26	5,920	228	1,043	40
12月	17	3,485	205	572	34	11	12,877	1,171	54	5	28	16,362	584	626	22
1月	10	1,423	142	399	40	12	8,960	747	72	6	22	10,383	472	471	21
2月	15	1,180	79	292	19	9	4,593	510	20	2	24	5,773	241	312	13
3月	18	3,116	173	219	12	10	5,683	568	65	7	28	8,799	314	284	10
合計	195	45,801	235	21,087	108	121	88,456	731	1,544	13	316	134,257	425	22,631	72

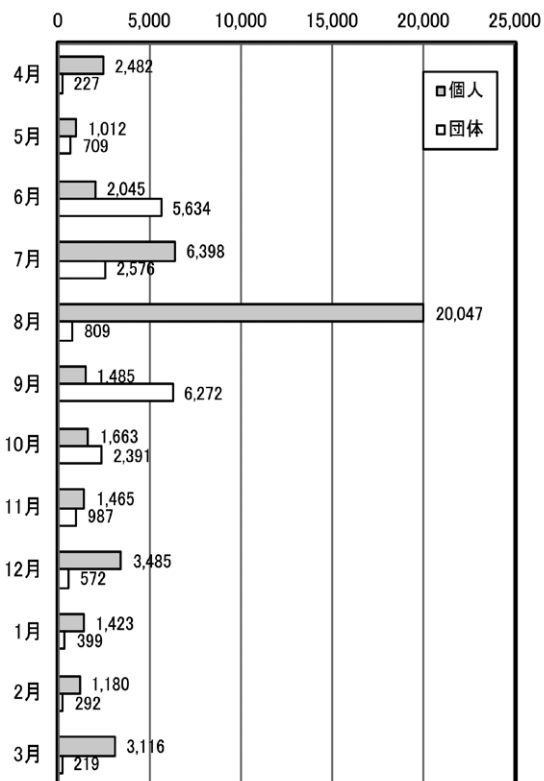
宇宙劇場平日月別入館者数

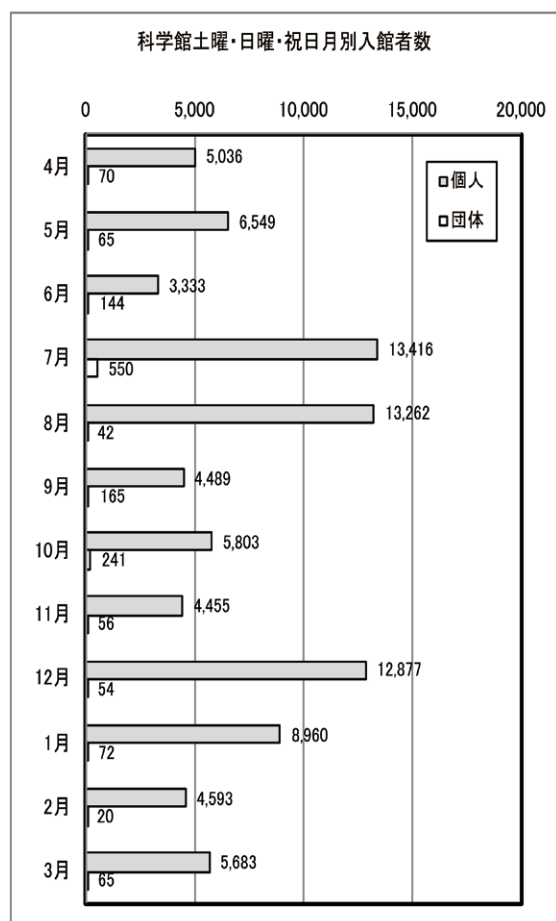
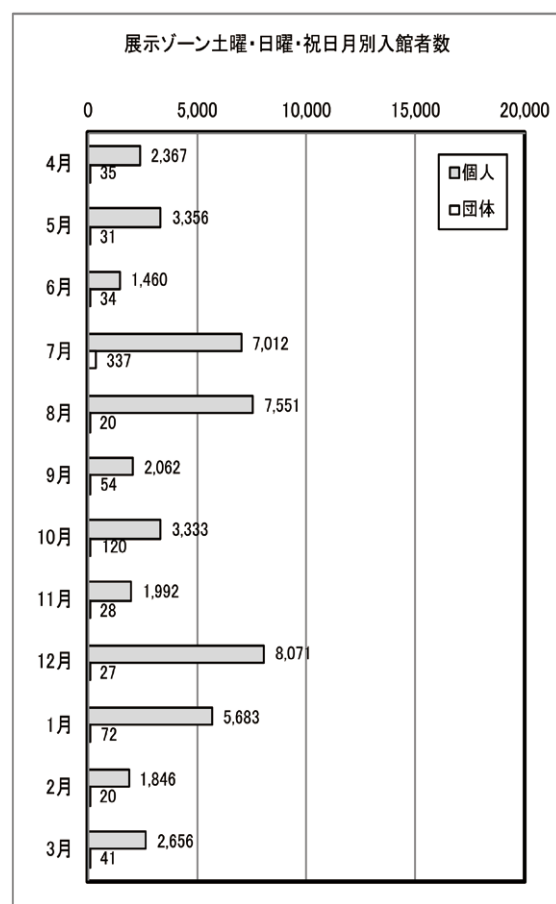
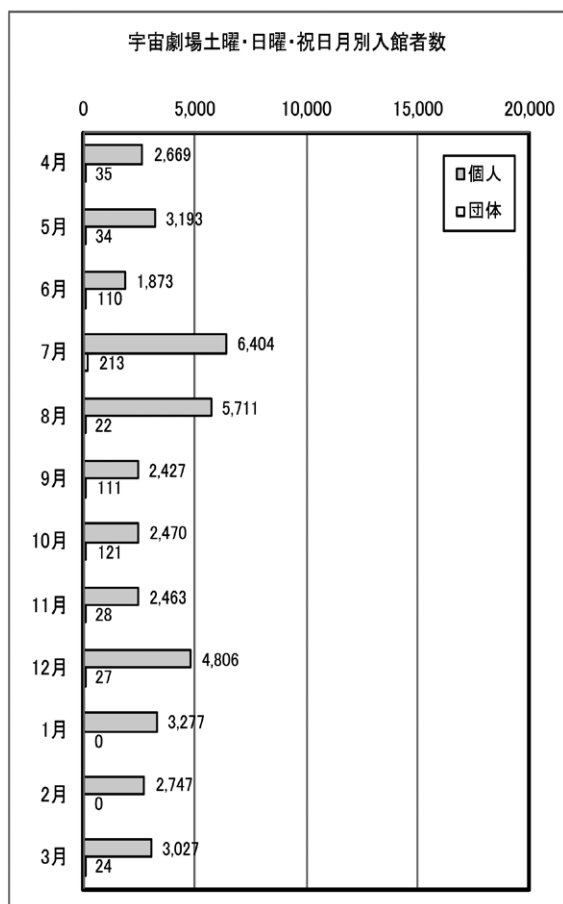


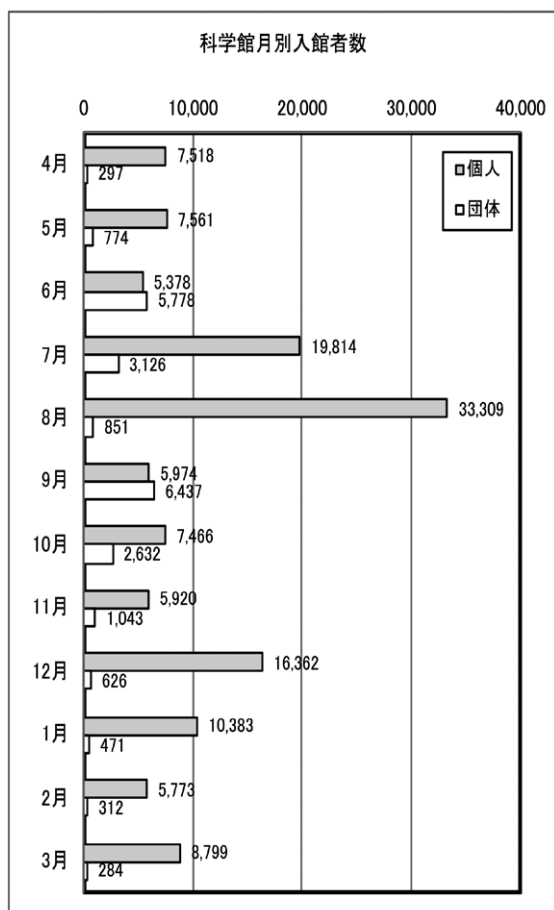
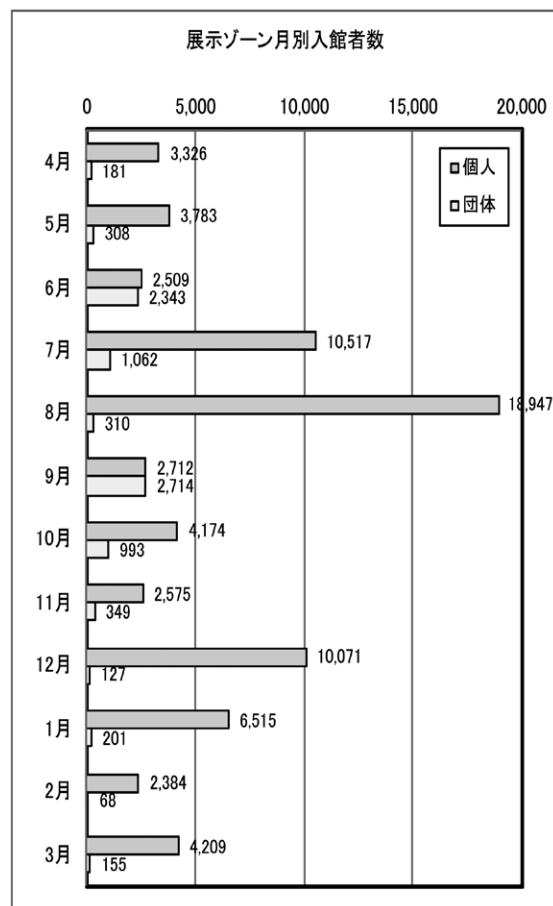
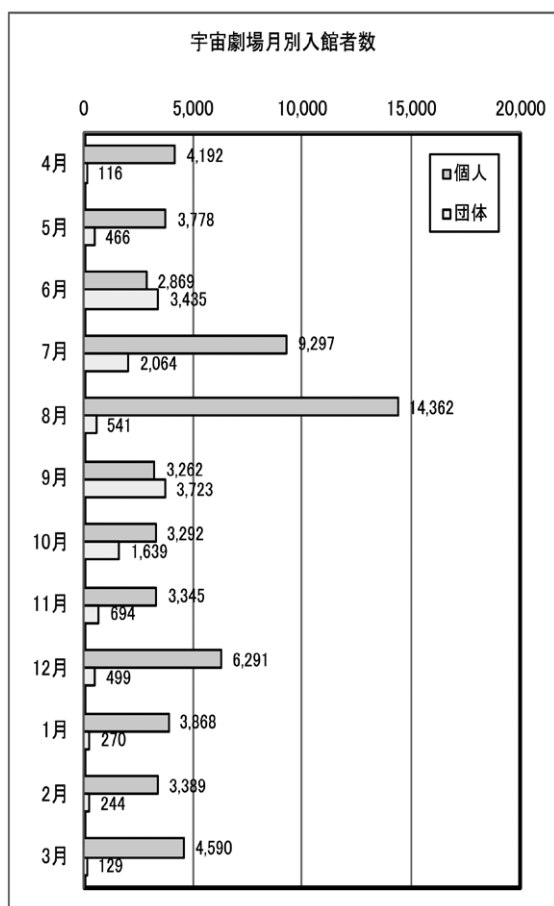
展示ゾーン平日月別入館者数



科学館平日月別入館者数







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	310	797	369	2,179	241	296	4,192
5月	184	708	361	2,044	198	283	3,778
6月	227	283	254	1,427	293	385	2,869
7月	928	2,216	449	4,107	528	1,069	9,297
8月	1,437	4,012	676	6,296	644	1,297	14,362
9月	178	524	275	1,672	221	392	3,262
10月	373	506	232	1,541	226	414	3,292
11月	186	366	330	1,857	155	451	3,345
12月	584	1,237	492	2,922	440	616	6,291
1月	386	765	287	1,930	176	324	3,868
2月	359	327	313	1,698	223	469	3,389
3月	342	767	547	2,134	350	450	4,590
合 計	5,494	12,508	4,585	29,807	3,695	6,446	62,535

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	81	35	0	0	116	4,308
5月	2	279	0	53	132	466	4,244
6月	1,033	2,182	0	218	2	3,435	6,304
7月	814	1,071	0	149	30	2,064	11,361
8月	23	461	21	34	2	541	14,903
9月	8	3,500	0	160	55	3,723	6,985
10月	314	1,040	40	143	102	1,639	4,931
11月	177	464	0	51	2	694	4,039
12月	149	310	0	38	2	499	6,790
1月	122	69	0	11	68	270	4,138
2月	236	0	0	8	0	244	3,633
3月	2	109	0	16	2	129	4,719
合 計	2,880	9,566	96	881	397	13,820	76,355

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	2	1	0	0	0	3
5月	0	6	0	0	1	3	10
6月	23	45	0	0	0	4	72
7月	22	16	0	0	1	5	44
8月	1	8	0	0	0	2	11
9月	0	57	0	0	2	2	61
10月	7	17	1	0	1	3	29
11月	4	7	0	1	0	1	13
12月	3	4	0	1	0	0	8
1月	1	2	0	0	1	0	4
2月	7	0	0	0	0	0	7
3月	0	2	0	0	0	1	3
合 計	68	166	2	2	6	21	265

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	1,029	102	1,386	809	3,326
5月	1,059	182	1,683	859	3,783
6月	462	68	818	1,161	2,509
7月	3,174	616	4,047	2,680	10,517
8月	6,149	1,358	7,506	3,934	18,947
9月	672	125	1,052	863	2,712
10月	745	96	1,633	1,700	4,174
11月	543	88	1,061	883	2,575
12月	2,530	288	4,100	3,153	10,071
1月	1,563	180	2,790	1,982	6,515
2月	405	110	1,002	867	2,384
3月	1,172	223	1,559	1,255	4,209
合 計	19,503	3,436	28,637	20,146	71,722

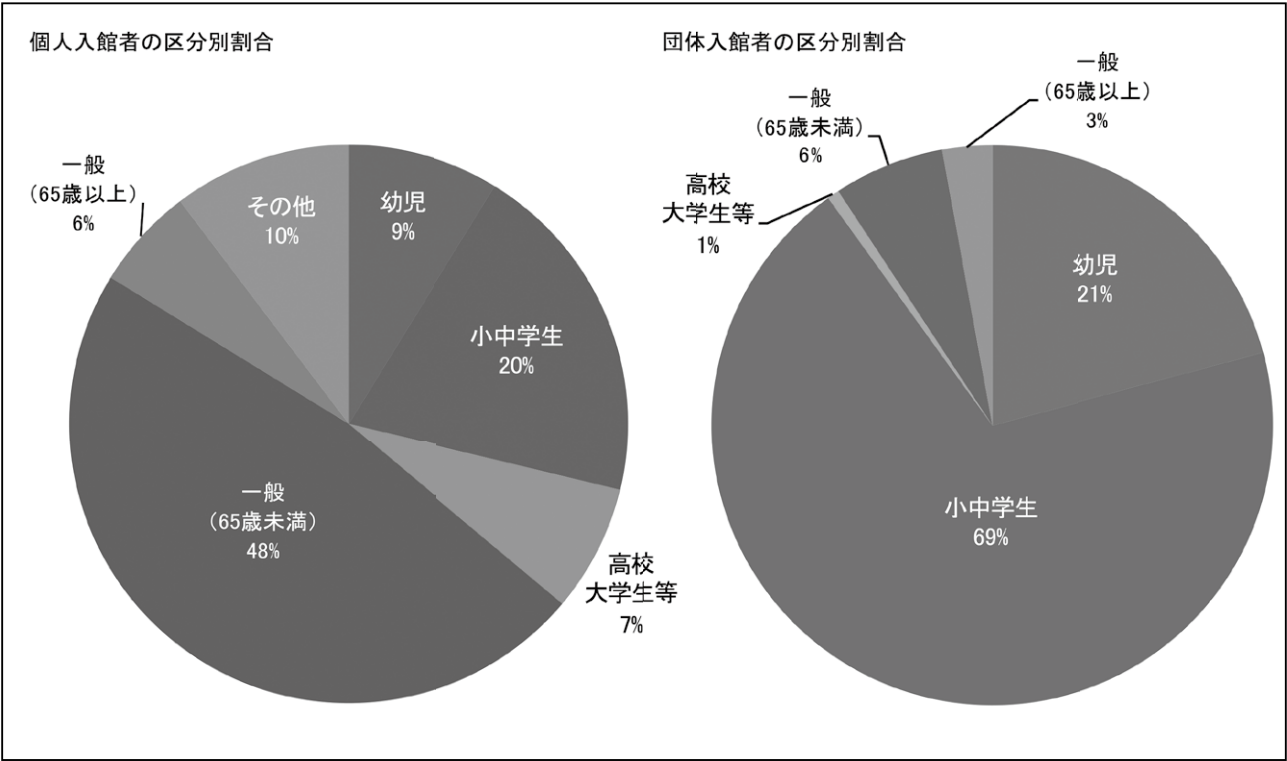
(単位：人)

月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	143	35	3	181	3,507
5月	279	0	29	308	4,091
6月	2,215	0	128	2,343	4,852
7月	927	1	134	1,062	11,579
8月	261	21	28	310	19,257
9月	2,603	0	111	2,714	5,426
10月	828	40	125	993	5,167
11月	329	0	20	349	2,924
12月	99	0	28	127	10,198
1月	159	0	42	201	6,716
2月	68	0	0	68	2,452
3月	127	1	27	155	4,364
合 計	8,038	98	675	8,811	80,533

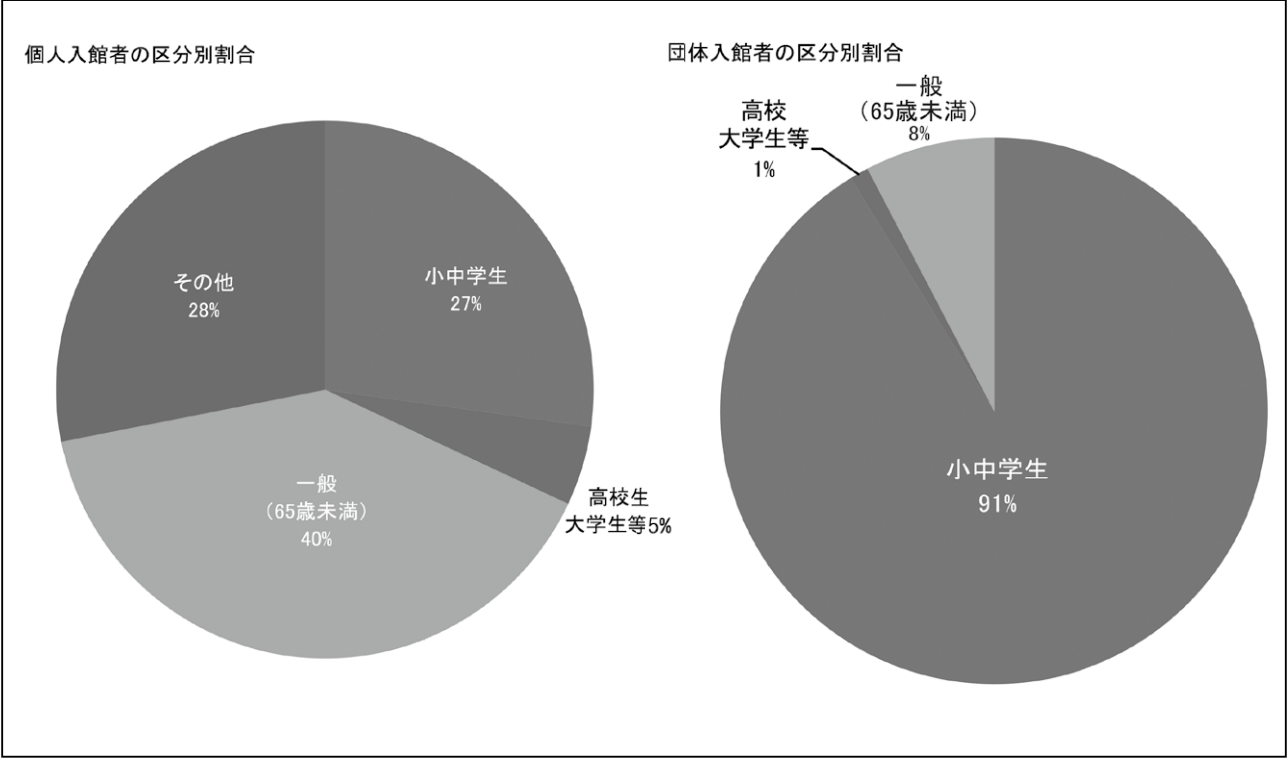
(単位：団体)

月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	3	1	0	0	4
5月	6	0	0	0	6
6月	48	0	0	2	50
7月	17	0	0	8	25
8月	4	0	0	3	7
9月	47	0	0	1	48
10月	15	1	0	2	18
11月	6	0	0	1	7
12月	4	0	1	0	5
1月	3	0	0	1	4
2月	2	0	0	0	2
3月	3	0	0	2	5
合 計	158	2	1	20	181

宇宙劇場入館者の区分別割合



展示ゾーン入館者の区分別割合



5 平成 22 年度から平成 29 年度までの入館者数の変遷

平成 22 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 22 年 4 月	16,106	3,377	4,452	7,829
5 月	19,254	4,098	5,795	9,893
6 月	17,565	7,061	6,477	13,538
7 月	30,755	12,245	9,373	21,618
8 月	41,499	15,292	13,522	28,814
9 月	18,094	6,238	6,231	12,469
10 月	19,998	4,979	7,332	12,311
11 月	15,404	3,331	3,682	7,013
12 月	25,824	6,924	6,432	13,356
平成 23 年 1 月	19,052	4,832	6,034	10,866
2 月	13,609	3,573	3,148	6,721
3 月	4,474	754	716	1,470
合 計	241,634	72,704	73,194	145,898

平成 23 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 23 年 4 月	1,686	349	587	936
5 月	15,203	3,222	4,299	7,521
6 月	13,192	3,644	3,805	7,449
7 月	35,496	13,130	10,809	23,939
8 月	29,937	10,011	12,260	22,271
9 月	17,240	6,083	6,217	12,300
10 月	25,411	6,095	17,730	23,825
11 月	11,769	4,436	4,445	8,881
12 月	21,017	5,563	10,291	15,854
平成 24 年 1 月	19,714	4,156	11,978	16,134
2 月	16,388	0	2,250	2,250
3 月	28,330	0	4,399	4,399
合 計	235,383	56,689	89,070	145,759

平成 24 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 24 年4月	15,475	1,645	4,069	5,714
5 月	22,466	8,385	6,692	15,077
6 月	16,866	6,832	6,236	13,068
7 月	24,323	10,741	7,283	18,024
8 月	33,552	14,923	10,441	25,364
9 月	17,459	6,706	6,365	13,071
10 月	15,856	4,211	4,551	8,762
11 月	13,724	3,558	3,350	6,908
12 月	22,325	4,612	5,513	10,125
平成 25 年1月	16,220	4,361	4,866	9,227
2 月	12,760	3,547	2,651	6,198
3 月	19,643	5,004	5,162	10,166
合 計	230,669	74,525	67,179	141,704

平成 25 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 25 年4月	14,169	2,806	3,783	6,589
5 月	15,976	4,097	4,348	8,445
6 月	17,348	6,692	6,071	12,763
7 月	22,669	9,367	7,994	17,361
8 月	32,210	12,585	10,073	22,658
9 月	16,831	5,747	5,066	10,813
10 月	15,000	4,390	4,230	8,620
11 月	13,862	3,576	2,916	6,492
12 月	22,285	5,354	4,573	9,927
平成 26 年1月	15,092	4,091	4,063	8,154
2 月	9,099	2,343	1,523	3,866
3 月	17,928	4,376	4,726	9,102
合 計	212,469	65,424	59,366	124,790

平成 26 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 26 年 4 月	13,033	2,533	3,391	5,924
5 月	15,592	4,135	4,798	8,933
6 月	14,005	4,886	4,609	9,495
7 月	24,181	10,896	7,882	18,778
8 月	34,895	15,013	10,784	25,797
9 月	16,669	5,895	4,515	10,410
10 月	15,439	4,605	4,121	8,726
11 月	14,579	3,757	3,457	7,214
12 月	16,690	3,847	2,683	6,530
平成 27 年 1 月	11,129	2,549	2,428	4,977
2 月	10,083	2,252	1,931	4,183
3 月	17,468	3,876	4,477	8,353
合 計	203,763	64,244	55,076	119,320

平成 27 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 27 年 4 月	12,994	2,419	3,232	5,651
5 月	16,197	3,996	4,526	8,522
6 月	14,429	4,926	4,572	9,498
7 月	21,676	9,750	6,428	16,178
8 月	31,958	12,777	11,165	23,942
9 月	18,172	7,377	4,843	12,220
10 月	15,645	3,818	4,185	8,003
11 月	14,211	4,183	3,289	7,472
12 月	25,995	6,560	8,175	14,735
平成 28 年 1 月	17,516	4,674	6,235	10,909
2 月	11,457	2,961	2,528	5,489
3 月	16,344	3,846	4,183	8,029
合 計	216,594	67,287	63,361	130,648

平成 28 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 29 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 29 年4月	14,504	4,308	3,507	7,815
5月	14,761	4,244	4,091	8,335
6月	15,184	6,304	4,852	11,156
7月	30,049	11,361	11,579	22,940
8月	45,749	14,903	19,257	34,160
9月	17,017	6,985	5,426	12,411
10月	15,611	4,931	5,167	10,098
11月	14,139	4,039	2,924	6,963
12月	26,171	6,790	10,198	16,988
平成 30 年1月	16,649	4,138	6,716	10,854
2月	11,803	3,633	2,452	6,085
3月	16,803	4,719	4,364	9,083
合 計	238,440	76,355	80,533	156,888

6 平成 29 年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○平成 29 年度：156,888 人（前年度：162,224 人）

○前年度比：約 3.3%減少（5,336 人減少）

☆展望ロビー入館者数

○平成 29 年度：238,440 人（前年度：240,887 人）

○前年度比：約 1.0%減少（2,447 人減少）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：13,074 人（前年度：13,519 人）

○展望ロビー：19,870 人（前年度：20,074 人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約 65.8%

（前年度比：約 2.3%減少 ※前年度：約 67.3%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5.0%	5.3%	7.1%	14.6%	21.8%	7.9%	6.5%	4.4%	10.8%	6.9%	3.9%	5.8%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
102.8%	76.6%	101.3%	118.0%	141.3%	102.0%	42.6%	120.0%	99.3%	87.3%	107.4%	74.2%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：77,040 人）

○平成 29 年度：76,355 人

○前年度比：約 0.9%減少

☆展示ゾーン入館者数（前年度：85,184 人）

○平成 29 年度：80,533 人

○前年度比：約 5.5%減少

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：139,519 人）

○平成 29 年度：134,257 人

○前年度比：約 3.8%減少

☆団体利用者数（前年度：22,705 人）

○平成 29 年度：22,631 人

○前年度比：約 0.3%減少

☆来館形態比

○個人：約 85.6%（前年度：約 86.0%）

- 団体：約 14.4%（前年度：約 14.0%）
- ☆利用傾向（平日／土・日・祝）
- 平日：約 42.6%（前年度：約 43.0%）
- 土・日・祝：約 57.4%（前年度：約 57.0%）

（4） 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：76,355 人）

- 幼児：8,374 人（約 11.0%） 内訳＝個人：5,494 人 団体：2,880 人
- 小・中学生：22,074 人（約 28.9%） 内訳＝個人：12,508 人 団体：9,566 人
- 高校・大学生：4,681 人（約 6.1%） 内訳＝個人：4,585 人 団体：96 人
- 一般（65 歳未満）：30,688 人（約 40.2%） 内訳＝個人：29,807 人 団体：881 人
- 一般（65 歳以上）：4,092 人（約 5.4%） 内訳＝個人：3,695 人 団体：397 人
- その他（障がい者 など）：6,446 人（約 8.4%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：80,533 人）

- 小・中学生：27,541 人（約 34.2%） 内訳＝個人：19,503 人 団体：8,038 人
- 高校・大学生：3,534 人（約 4.4%） 内訳＝個人：3,436 人 団体：98 人
- 一般（65 歳未満）：29,312 人（約 36.4%） 内訳＝個人：28,637 人 団体：675 人
- その他（幼児、障がい者など）：20,146 人（約 25.0%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65 歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65 歳未満）」が最も多く約 38.2%、次いで「小・中学生」約 31.6%と、昨年度と同様に「一般（65 歳未満）」が多い結果となりました。

（5） 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が 156,888 人で約 3.3%減少、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 31,399,100 円で約 17%の増加、展望ロビーにおける施設利用料金が 733,800 円と前年度と比べ約 38%減少しました。

入館者数が約 3.3%減少したのに対し、施設利用料金収入が約 17%増加したのは、前年度は開館 15 周年記念事業を開催し 2 日間で 9,317 人と多くのお客様にお出で頂きましたが無料で開催したこと、今年度が開館後初めて夏の学校長期休業期間に開催したスペースパー企画展「3D ゴーストハウスの科学」の入館者数が、27,632 人と前年度の同時期と比較し約 99%増加したこと等によるものです。

また、展望ロビーの施設利用料金が約 38%減少したのは、展望ロビーに設置してあるビュースコープ（100 円を投入し景色を見る装置）が経年劣化のため、5 月 14 日から翌年 3 月 25 日まで使用できなかったこと及び鉄道ジオラマ運転装置（200 円投入し N ゲージ鉄道模型の運転操作体験が出来る装置）も経年劣化により使用できない状態が頻繁に起きたことが要因となっています。

前年度は、多くの開館 15 周年行事を開催したことにより開館以来 2 番目に多い入館者であったため、今年度は大幅な入館者の減少を予想していましたが、前述したようにスペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」の入館者数が好調であったことから、入館者数の減少を約 3.3%に抑えることができました。

このことから、多くのお客様にお出で頂くには、実施する事業、運営方法全体に言えることですが、如何にお客様ニーズをつかみ興味関心を引く事業の展開、運営が出来るかが重要な鍵となります。

さらに広く情報収集を行い、柔軟な発想により、科学館の運営に努めていきたいと考えております。

Ⅶ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第 3 条 削除

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。
ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたるときは、その翌日とする。)
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、

あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、

規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日（同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日）以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例（平成11年郡山市条例第24号）の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で

定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

- 2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)
(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)
- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

- 6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則（平成29年郡山市条例第47号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

* 別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日

郡山市規則第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額

(2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額

(2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(3) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

(1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要

(2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲

(3) 指定管理者の指定の期間

- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他市長が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

（申請書等）

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他市長が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。

ア 破産者で復権を得ないもの

イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員

- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。

(3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第 8 条 条例第 15 条第 2 項の規定による通知は、選定結果通知書（第 5 号様式）によるものとする。

(指定通知)

第 9 条 条例第 16 条第 1 項の規定により指定をするときは、指定通知書(第 6 号様式)により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第 10 条 条例第 17 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第 11 条 条例第 22 条第 1 項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

(委任)

第 12 条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成 27 年郡山市教育委員会規則第 1 号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成 13 年郡山市教育委員会規則第 12 号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成 30 年郡山市規則第 26 号）

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年郡山市規則第 48 号）

この規則は、公布の日から施行する。

2 利用案内

< 普通観覧料 >

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円
※宇宙劇場の幼児 … 座席を使用しない場合は無料 ※団体割引 … 20 名以上の団体は 20% OFF		

< 定期観覧料（ワンイヤーパスポート） >

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が1年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

< 宇宙劇場番組開始時間 >

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ（祝日を除く）	
※番組開始時間は変更になる場合があります。		

< 開館時間 >

常設展示 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

宇宙劇場 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

※金曜日は 10 : 00 ～ 19 : 45（入場は 19 : 00 まで）

< 休館日 >

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28 ～ 1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

< 展望ロビー >

10 : 00 ～ 20 : 00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。
- (1) 案内グループ
 - (2) 科学グループ
 - (3) 天文グループ

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。
- 3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
 - (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
 - (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。
- 2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

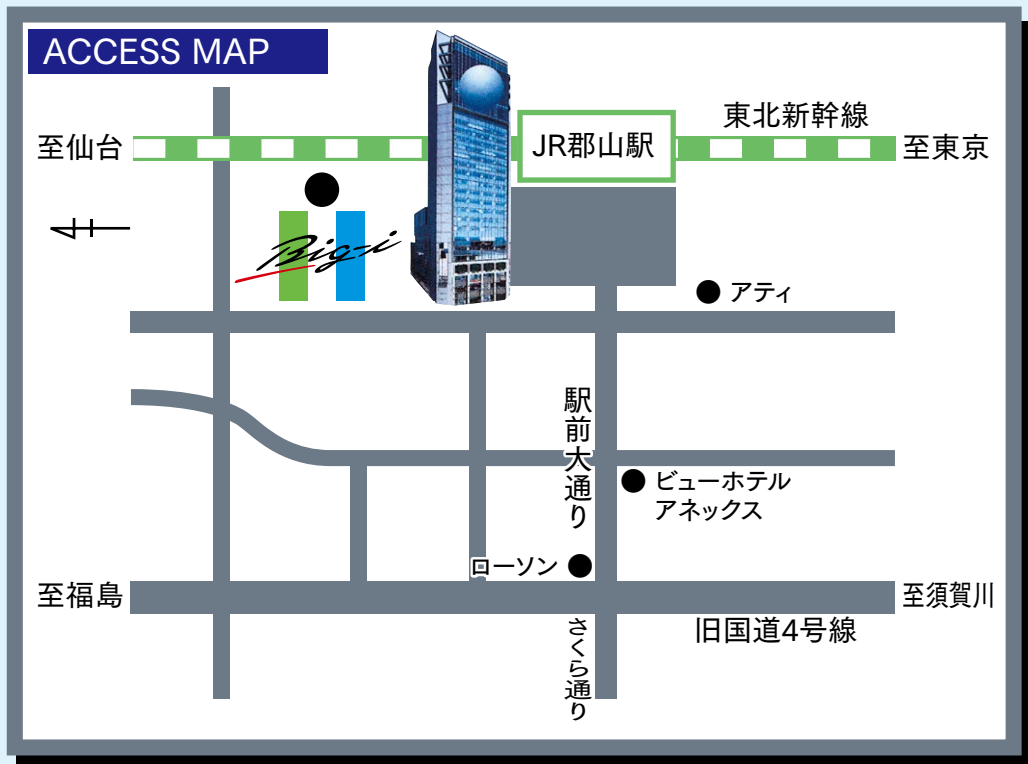
この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

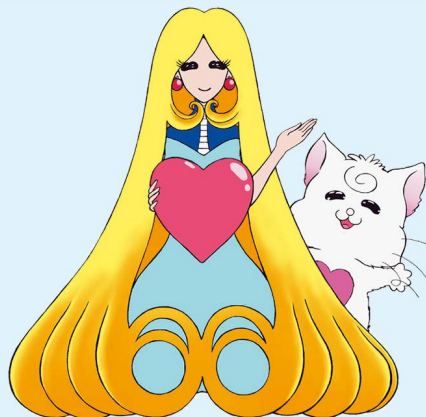
メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

スペースパーク

検索

Facebook配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市